

Organo de HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

Heroldo de HEL

N-ro 91 septembro - decembro 2001 合併増頁号

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

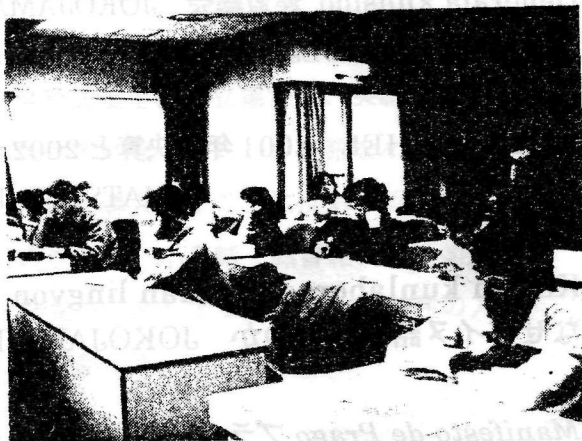
ĉe HOŜIDA Acuŝi

〒053-0844

Mijanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

苫小牧市宮の森2丁目18-18 星田 淳 方

053-0844 JAPANIO



La 65a Hokkajda Kongreso de Esperanto
第 65 回北海道エスペラント大会

ENHAVO 目次

La 65a Hokkajda Kongreso de Esperanto

Esperanto kaj plurlingva internacia socio

第65回北海道エスペラント大会

「エスペラントと多言語国際社会」

Simpozio “Plurlingva internacia socio kaj komunikado”

シンポジウム「多言語国際社会とコミュニケーション」

GOTOO Josiharu 後藤義治 4

Ĝenerala kunsido 連盟総会 JOKOJAMA Hirojuki 横山 裕之 8

Mesaĝo de Japana Esperanto-Instituto 日本エスペラント学会から 7

Financo de HEL 2001 年度決算と 2002 年度予算案

MATSUNO Hajime 松野 元 8

Kial ni kunlaboras la ainan lingvon

なぜアイヌ語復権なのか JOKOJAMA Hirojuki 横山 裕之 13

Manifesto de Prago プラハ宣言 (エス・日・沖縄語) 沖縄語訳 横山 裕之 17

Raporto pri Tomakomaja Esp.-Societo

苫小牧エスペラント会の活動 HOŜIDA Acuŝi 星田 淳 23

La 2a komitata kunsido 第2回委員会報告 HOŜIDA Acuŝi 星田 淳 24

La 3a komitata kunsido 第3回委員会報告 HOŜIDA Acuŝi 星田 淳 25

Danke ricevitaĵoj 受領郵便物 HOŜIDA Acuŝi 星田 淳 26

La 2a karavano al For-Orienta Rusio

第2回極東ロシア訪問団 KABAYAMA Yûsuke 樺山 裕介 28

Interkonsento kun Vladovostoka Esperanto-Klubo

ウラジオストック・エスペラントクラブとの協定書 32

En ĵurnalo 北海道新聞より 34

Geedzoj Robineau en Hokkajdo

「Ili vivas sur la tero」の著者ロビノー夫妻について NASU Sakae 那須 栄 35

Korano en Esperanto エスペラントでコーランを SES の G 35

Reta interparolo kun studentino en Novosibirsko

ノボシビルスクの学生とのメール HOŠIDA Acuŝi 星田 淳 36

Kontraŭ la oficialigo de la angla lingvo

英語第二公用語化反対の仲間を集めています

英語の第二公用語化に反対するエスペランチストの会 38

Novjara Kurso en 2002

2002 年新年講習会のお知らせ 40

ITT-Paĝo de HEL

北海道エスペラント連盟のインターネットホームページ

ホームページのアドレス (URL)

<http://www2u.biglobe.ne.jp/~HEL/index.htm>

HEL の電子メールアドレス

hel@mud.biglobe.ne.jp

*第 88 回日本エスペラント大会ホームページコンテストで、北海道連盟が一位になり、3000 円分の図書券を受け取りました。

評：地域の特徴を生かし、アイヌ関連のページもとても充実している。

*皆様もホームページへ記事を送ってください。

*更新はありません。

「空爆日誌」で紹介した、空爆下のユーゴスラビアにいたエスペランチストとの交信が、本に載りました。「憲法・平和主義を掘る ベトナム戦争・コスタリカ・矢白別」(札幌郷土を掘る会) 税込み 1000 円です。問合せは星田まで。

**Raporto de la 65-a Hokkajda Kongreso
de Esperanto**

**第 65 回北海道エスペラント大会
シンポジウム「多言語国際社会と
コミュニケーション」**

GOTOO Josiharu 後藤 義治
LKK 札幌エスペラント会(SES)代表

北海道にエスペラントが招来したのは昭和 6 年と聞くから、今年で 70 年になる。大会も 65 回を迎えた。今大会の LKK は道大会史上初めて SAT 札幌と SES が共同で当たった。

大会は 9 月 23 日(日)と 24 日(秋分の日の振替日)。初日は一般を対象にしたシンポジウム。2 日目は HEL の総会と役員会。2 日目については公式記録をご覧いただくことにして、初日の Simpozio を、講師の先生方のお話を要約して報告にかえたい。コーディネイターは北海道エスペラント連盟図書部長・宮沢直人。

**イギリスにおける他言語の扱われかた
～後藤斉さん～**

大会のテーマは Esperanto kaj la plurlingva Internacia socio (エスペラントと多言語国際社会)。基調講演は「多言語国際社会とコミュニケーション」と題して、東北大学大学院文学研究科言語学講座助教授の後藤斉氏にお願いした。先生は、人口比が中国語に次いで多い英語を軸に論を進めた。

全世界で独立国家は 200 ほどだが、言

語は訳 6000 あるといわれている。特に日本に伝わって来る各種のニュースは英語を介してのものが多く、経済・学問など世界のトップレベルでは英語が使われるのはあたりまえのこととなっている。だが問題なのは英語が持っている価値観も一緒に持ち込まれ、その結果イギリス・アメリカ的見方になってしまう。数え切れない多文化には機能せず、大半は切り捨てられてしまう。

実例を挙げると、ここにイギリスが世界に誇る Oxford 出版の世界文学カタログがある。その半分がイギリスとアイルランドが占めているのは当然としても、残りもヨーロッパとアメリカに充てられ、最後の 1 ページのみがイースタンである。この中の一部が日本だが、エリアは東アジアからメソポタミアまでに及ぶ。世界の大多数を占めるアジアは 1%にも満たない。

だが利害関係が逆の場合はどうか。イギリスの通産省では各商社に対し「英語だけでは十分でない。他の言語を使うと商売はもっとうまくいく」と言ったり、2000 年 5 月にあったロンドンの市長選挙では英語以外にベンガル語、中国語、パンジャブ語など 6 つの言語が公報に書かれてあった。連合国家イギリスならではの苦肉の策でしょうか。

話はかわって、前内閣の諮問団体が「英語を第二公用語にしては」との答申をしたが、たしかに公用語が複数の国は多い。しかし公用語とは、その言語しか使えない住民に対する、行政の平等化を図るもので、少なくとも今の日本では関係のないことで

ある。

結論として、英語の一極集中は米英の考え方をそのまま受け入れ、特定の見方にねじ曲げてしまう。世界には多種、多様な文化がある。それぞれの文化がそのまま伝えられる言葉こそ、国際社会では用いられなければならない。と結んだ。

他言語国家ロシアの言語権とその現状

～セルゲイ・アニケーエフさん～

ついで演壇に立ったのは、HEL の会員でもあるセルゲイ・アニケーエフさん。セルゲイさんは極東ロシア国立大学函館分校の副校長で「多民族連合国家の言語問題」と題してロシアの言語事情を中心に話された。

日本には幸せなことに言語問題はないと思う。それは日本に生まれ、日本語を話すからで、外国語を話す日本人は「変わった日本人」である。

ロシアは歴史的事情から多民族・部族が住んでいる。大多数の国は民族語に苦労しており、国によって解決の仕方が違う。フランスの様に少数民族を無視している国もあり、100%国民が満足する解決をした国はない。

ロシアには「言語基本法」という 14 ページにもものぼる法律がある。が、理想的な美しい法ができたからといって、これで言語問題が解決したわけではない。ロシアの中でロシア語を使うことが強制されている。ロシアでは日常的に隣同士が違う民族という状況が 100 年間も続いた。その結果ウラジオでは住民の大部分が混血である。私の

場合も祖母はポーランド人だ。

多民族国家では多数派の言語が日常でも採用されるようになり、子供は大きくなるにつれて、家族の言語から離れていく。

ソ連時代には公用語はなかった。民族国（共和国）でも大きな学校ではロシア語を教えていた。共和国では民族語を学ぼうとしない傾向があり、強制することも難しかった。働くためにはロシア語が必要だったからである。また人気の高い大学に入るにはロシア語が必要だった。

今ではロシア語が公用語として決められている。しかし各共和国にはまだロシア語を理解できない人がいる。だが諸民族語はロシアの宝としてすべて平等に扱われている。

軍隊での例を見てみよう。ロシアは 18 才で兵役の義務がある。農村出身でロシア語ができない兵士はどうするか？ 彼等は鉄砲を持たない。技術の修得か、建築の作業に従事する。司令官はロシア人が当たる。だが、その部隊にロシア人がいない場合、少数民族の人が司令官になり、命令を伝える。軍隊は国家の縮図である。

言語に関する限り、ロシアはソ連の遺産を受け継ぎ、公用語は明文化された。その言語基本法の一部を付記したい。

第9条 国民は教育的言語を自由に選択する権利があり、国家は、連邦内民族のいずれの言語による教育も可能な制度を用意する義務がある。どの言語によって教育

を受けるかの選択は、父母または親権者の権利である。民族国家や地域を形成するまでにいたらない少数民族の子弟のためには、その人員の多少にかかわりなく、要求があれば、その民族語での教育が行えるように国家が責任を持つ。

甦りゆくアイヌ語～横山 裕之さん～

最後の提言者は北海道エスペラント連盟の広報部長、横山裕之さん。横山さんは長年アイヌ語の学習と育成協力にかかわってきた。その中で萱野志朗さんと出会い、アイヌ語とエスペラントとの現状を次の様に報告した。

アイヌ語は滅びゆく言語といわれながら完全に途絶えることなく、さまざまな試みにより、少しずつ甦り、そして失われつつあるアイヌ文化を取り戻そうとしている。

日本の中でもアイヌ語の他に沖縄語の復権運動や、世界的に見るとオーストラリアのアボリジニをはじめアメリカのインディアン、旧ソ連の共和国などが、いったん滅びようとしていた言語を再び使おうという動きができつつある。「世界先住民族の国際10年」などの動きがこれを押し上げてもいる。

前参議院議員の萱野茂さんが国会でアイヌ語の演説をし、新法発足と共に、現在、道内に14カ所のアイヌ語教室が開設された。またアイヌ関係の研究書等も多い。が、「死保存」が現状。だが「活保存」に向か

っての努力が着々と進められている。

そのひとつが萱野志朗さんが主宰する「アイヌ語ペンクラブ」。アイヌ語のみで書かれた新聞「アイヌタイムズ」が定期刊行され、発行部数も少しずつ増えている。さらに香港、ロシア、ポーランドなどの大学へと国際的な広がりも見せている。また「アイヌ語ラジオ講座」も週一回STVから放送されている。他にもアイヌ語を正しく読み書きするために、最近JISでアイヌ語用の文字コードが定められた。このことは「アイヌタイムズ」にも発表している。

国際語をめざすエスペランチストがなぜアイヌ語を支援するのかについては、1996年プラハで開かれた世界エスペラント大会での「宣言」に注目していただきたい。これは現代のエスペラント使用者の立場を明らかにしたもので、大別すると主旨はふたつ。そのひとつは「言語上の権利」。エスペラントは言語間の不平等を取り除き、各言語の権利を保証する言葉であるからである。もうひとつは「言語の多様性」をうたったもので、すべての言語は豊かさの源である。エスペラント使用者がコミュニケーションを発展させていく時、そのすべての言語を尊重し、支持し、その多様性を認めることである。これはとりもなおさずアイヌ語を認め、アイヌ文化を尊重し、アイヌ民族を支持することに他ならない。

最後に現在のアイヌ語が持つ日常性の問題点の解決をどうするか？ 古来のアイヌ語で表現できない大きな数字、シウニン(草色—黄・緑・青の区別はない)など現代用

語との対比や政治・経済・法律・科学技術用語などをどう表現するか。今後新しい「アイヌ語」を作っていくには、もっと支援者の輪を広げ、学習者、研究者の層を厚くしなければならぬ。またアイヌ語の母語者と研究者がひとつになって、この問題の解決に当たる必要がある。またそのシステム、組織の構築を急がねばならない。

休憩の後、討論に入ったが問題の次元が高すぎたのか、質問の域を出た所どまりで議論にまで発展させることができなかった。少し残念な気がしたが内容のある一日だった。

日本エスペラント学会理事長 柴山純一氏からのお手紙

Al s-ro HOSIDA, Sibayama konfidas la saluton de JEI.

Saluto al la 65a Kongreso en Hokkaido, de Japana Esperanto-Instituto. Nome de Japana Esperanto-Instituto, mi esprimas sinceran saluton al la partoprenantoj en la Kongreso en Hokkaido. Nu, la ĉeftemo de la Universala Kongreso en Zagrebo esti *Kulturo de dialogo, dialogo inter kulturoj*. Kvankam tiu ĉi temo estas aplikebla ĉie en Esperantujo, mi vidas ke tiu tre bone sidas al vi Hokkaido-anoj, inter japanaj regionoj. Ni vidas, ke vi strebas al la valorigo de la nacia diverseco, kaj ni vidas, ke

こんなどころで **El la redakto 編集室から**
★北海道大会で、司会の後藤さんは、日本国内でも方言の違いが大きいことを、自らの仕事の経験で付け加えていました。聴いて分からないほどの言語の差がありながら、お国言葉と標準語を使い分けていることも、参考になるという視点には賛成です。また、参加者への記念品として、プラハ宣言沖縄語版と併せて配布した北海道の山々の水彩画は後藤さんの筆になるものです。

★発行が遅れてすみませんでした。今回は特にひどい遅れでした。陳謝

★3 ページで紹介した本のなかで星田さんは、米国発の情報はかなり操作されていると書いています。戦乱渦巻く今の世に、コントロールされない情報網が、エスペラントなら可能かもしれません。

★人それぞれ自分にとってのエスペラントがあるでしょう。それぞれ 2002 年、進んでいきましょう。 編集 樺山 裕介

vi tenas kontakton al la najbara lando

okcidente de vi. En la reala mondo hantas fantomo, kies nomo estas aŭ terorismo, aŭ venĝego kontraŭ tio. Oni emus pensi, ke nia forto estas malgranda, sed ni ne malesperu, ke la voĉo de la popolo amanta pacon estu ĉie aŭdebla, pere de la dialogo, kaj lingva ilo, kiu ebligas tian dialogon.

SIBAYAMA Zyum'iti, la Prezidanto de la Estraro de JEI.

第 65 回北海道エスペラント大会

連盟総会

9 月 24 日、会場は札幌市かでの 2・7 であった。

樺山さんがまず、司会を行い、亡くなられた、白石千尋さん、吉原正八郎さん、中里和夫さんの黙祷から始まって、出席者全員で La Espero を合唱した。

次に、大会に移り、議長に児玉さん、副議長に馬場さん、書記に横山、が選出された。

議案書にしたがって、まず、札幌エスペラント会、苫小牧エスペラント会、サート(SAT)札幌、小樽エスペラント会等の各組織、および個人レベルの活動状況の報告があった。

次に全体総括、広報・宣伝、HEL メールマガジン編集局、について、各担当より事業報告があった。IT(InformaTekniko)による発展を中心に報告をした。

研究・学習・教育については、「あなたの Fako(j) kaj Nivelo を研究教育部に」という事業と JEI 学力検定試験を講師認定の下地にするということはとりやめにするに決めた。会計報告については、担当の個人的な事情や作業の不手際があり、大会までに間に合わなかったため、次回の機関誌に発行に合わせて報告し、疑義があれば質問をするという形になった。

図書・出版については、図書の整理を行い、販売用及び閲覧用図書リストを目指すこととし、整理用の棚を購入することとなった。

渉外・国際活動については、ロシアのエスペランティストとの交流が根付き始めたということと、インドの盲人エスペランティストとの交流があったという報告があった。なお、国際大会に参加した道内在住エスペランティストはいない。

新役員については、委員長 星田淳、副委員長 後藤義治、阿部映子、事務局長 佐藤英治、会計委員 松野元、委員 天方良彦、岩井正久、大山口誠、樺山裕介、須藤昭三、宮沢直人、横山裕之、佐藤不二雄(敬称略)が選出された。

最後に、La Tagig'eo をみんなで合唱して終了した。

2001 年度決算の遅れについて

松野 元

総会への提出が間に合わず、遅れていた決算書の、会計監査・馬場恵美子さんによる承認が去る 11 月 21 日におりました。先ず、この件について連盟員各位に深くお詫びいたします。

このようなことになった理由としては、私自身会計の役割を担うことが初めてだったことでもあります。

(1) 金銭出納表をつけていなかったこと

(2) 作業をひとりで抱え込みすぎ、早めの対応ができなかったこと

だと思います。この間 5 月に仕事が夜勤の 13 時間拘束の仕事に変わったこともあり、平日の作業は集中できず、不正確なものとなりがちでした。

解決策としては、今年度、金銭出納表をつけることはもちろんですが、月に 1 回ロンデタージョでの会計作業日を設け、月毎に伝票整理、記帳、現金の確認を行います。事務局にも協力を求め、再度、その確認作業を行い、単純なミスがないよう正確で迅速な会計業務をすすめていきます。

以上、前年度決算の反省と対策の実行を通して今年度の会計作業を正確で円滑なものにしていくよう頑張りますので、連盟員各位の御指導御鞭撻よろしく願います。

2001 年度決算

支出

	予算	決算
一般支出	230,000	224,166
事務局費	68,000	38,017
事務関係費	45,000	33,937
図書印刷費	3,000	4,080
旅費交通費	10,000	0
雑費	10,000	0
機関誌費	114,000	102,560
用紙印刷費	41,000	31,080
連絡発送費	73,000	71,480
組織宣伝費	20,000	15,102
振替手数料	4,000	3,360
予備費	24,000	0
繰越金	0	65,127

収入

	予算	決算
一般収入	354,000	224,166
会費収入	214,000	171,500
前受収入	36,000	37,000
当期収入	178,000	134,000
正会員	144,000	120,000
購読会員	24,000	12,000
家族会員	10,000	1,000
青年会員	0	1,500
寄付金・賛同金	20,000	19,000
受取・利息	1,500	894
資産取り崩し	50,000	0
繰越金	68,426	0
雑収入	74	2,772
前年度仮払い戻り	0	30,000

事業支出	624,000	428,519
第64回道大会	394,000	323,459
会場費	20,000	11,976
設営費	10,000	43,225
講師費	17,000	61,910
事務費	144,000	158,813
印刷費	10,000	5,000
バンケード代	30,000	42,535
予備費	10,000	0
繰越金	0	0
新年講習会	50,000	9,000
5月合宿	110,000	26,060
図書購入資金	70,000	70,000
合計	1,012,000	652,685
事業収入	500,000	372,825
第64回道大会	270,000	248,485
参加費	90,000	71,400
助成金	100,000	70,000
寄付・賛同金	40,000	17,000
宿泊費	0	35,000
バンケード代	30,000	46,400
その他の収入	10,000	0
繰越金	8,685	8,685
新年講習会	50,000	10,200
5月合宿	110,000	44,140
図書購入資金返戻	70,000	70,000
*合計	1,012,000	596,991

2002年度予算案

一般支出	292,000	一般収入	262,000
*事務局費	100,000	*会費収入	171,500
事務関係費	45,000	前受け収入	37,000
図書印刷費	5,000	当期収入	134,500
旅費交通費	10,000	正会員	120,000
備品購入費	30,000	購読会員	12,000
雑費	10,000	家族会員	1,000
		青年会員	1,500
*機関誌費	114,000	*寄付金	24,000
用紙印刷費	41,000		
連絡発送費	73,000	*受取利息	1,000
*組織宣伝費	20,000		
		*繰越金	65,127
*振替手数料	4,000		
		*雑収入	373
*予備費	30,000		
*国際交流費	24,000		
資産の部		負債の部	
1.現金預金等	1,222,758	1.前受け収入	37,000
(1) 現金	1,096,300	(1) 2002年度会費	30,000
(2) 郵便振替	36,940	(2) 2003年度会費	7,000
(3) 郵便貯金	261	2.負債合計	37,000
(4) 郵便貯金(インターネット専用)	31,440		
(5) 北洋銀行普通預金	57,817	純財産(資産-負債)	1,462,449
2.一般物品、備品等	276,691		
(1) ビデオ(Mazi en Gondolando)	12,800		
(2) Express エスペラント語他	9,750		
(3) Ainaj Jukaroj(1989)212部	106,000		
(4) 図書部在庫書籍	148,141		
3.資産合計	1,499,449		

松野 元

一般収支

一般収支については 65,127 円の繰越金が発生し、健全財政になっていると言えるのではないかと。ただ事務局費の中で、旅費・交通費について会計の側から請求を働きかけなかったため、支出ゼロとなったのは、改善の必要がある。委員が遠方から委員会に出席することはHELの中での公務（出席の義務がある）にあたるため、支出すべきは、きっちり支出しなければならない。今年度は会計の方から請求を出席委員について働きかけるなど、請求しやすい環境づくりをすすめます。新項目、国際交流費については、ロシアのエスペラントクラブ「PACIFIKO」の活動支援金 2 年分の一括払いとなります。次年度は支払いを行わず、次次年度以降は再度検討します。

事業収支

事業収支については、55694 円の赤字が発生した。これは 64 回大会の赤字が原因であるが、当初予算での想定赤字幅が 124,000 だったことを考えると、会の努力で赤字幅の 1/2 以上の圧縮に成功したと評価しても良いのではないかと。

ただ原則として、最初から赤字を想定した事業予算編成は、やはり健全とはいえず、65 回大会については LKK に苦勞をかけないよう均衡型の予算編成をした。

尚、図書購入資金については、総会でも図書部長の宮沢直人氏から提案があったが、連盟員と関西エスペラント連盟の協力により、多数の本の寄贈があったため、今年度は図書購入資金を 40000 円と低くし、一方、在庫増加分の整理のため、備品購入費を 30,000 円予算化しました。

会計より提案

尚、本年 9 月 21 日に中里恵子さんより 200,000 円の寄付金を頂きました。この寄付金の使い道については、委員会での討議では、今年度では使わず、じっくりと 1 年間熟考した上で、決定すべきということになりました。その使い道としては、委員会では以下のような三つの案が出ています。

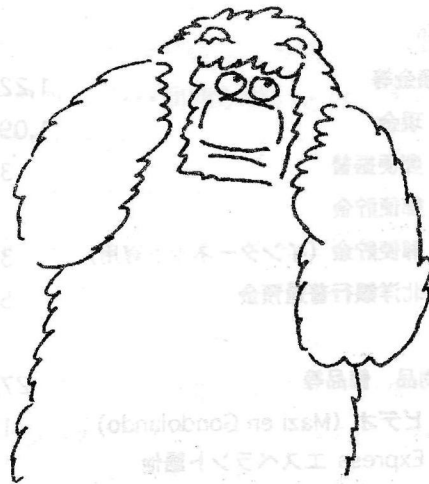
- (1) 大会充実基金
- (2) ザメンホフ全集の購入
- (3) 連盟旗の新調

については、寄付金の有効な使い道について連盟員各位からも御意見御要望を頂きたいので、下記、連盟事務局に私宛で意見書をお送り下さい。出来るだけ文書の型で送って下さるようお願いします。

011-0025 札幌市北区麻生町 1 丁目 3-13

3F ロンデタージョ

北海道エスペラント連盟 松野元宛



Kial ni kunlaboras la ainan lingvon
なぜアイヌ語復権なのか

JOKOJAMA Hirojuki 横山 裕之

前回の北海道エスペラント大会で、生存競争の原理によりアイヌ語は滅ぶべき運命にある言語であり、言語の復権の運動に加担して何の意味があるのかという発言がありました。

アイヌ語の言語共同体ではない日本人が、論議すべき話でしょうか？ こういう非常にデリケートな問題に対して、すべての民族にとって中立な言語エスペラントを使用しようとする者の大会の中で、こういう発言はあまりにも無神経であるとも私は考えます。

私は、この発言に対し、非常に憤りを感じました。それで一切の発言に対し明確な回答をしませんでしたが、誤解があるといけないと思い、少し考えを整理して機関紙に投稿しようと考えました。私のエスペラントに対する根幹的な考えでもありますので、少し紹介させていただきます。

まず、私は、今後とも、戦前あるいは戦後の一部の学者あるいは社会全般にも見られるようなアイヌは野蛮で、日本人の方が優れているというような思い上がった考えには同調することはないし、それに加担することもないということを最初に述べようと思います。今後ともそういう人たちの言うことには賛意を示すことはないし、関わりあいを持ちたいとも思いません。

言語の復権という問題については、その言語共同体のアイデンティティの精神こそがそれを決めるのであって、政治的・学問的に決めるものではないと思うし、ましてや違う言語共同体の者があれこれ口をはさむ問題でもないとも考えています。

また、言語というのは、「地球時代のコミュニケーション」（堺エスペラント会 2001）の中で木村護郎さんも言っているように、単なるコミュニケーションの道具ではなく、その言語がアイデンティティのために必要ならば、それは「役に立っているもの」で、「必要性」があるものと思います。実際、意志疎通ができる大言語がある状況であっても、世界中で少数言語の復興・復権運動が行われています。

それで、「生存競争」を持ち出して、アイヌ語が日本語のような役割を果たしていないからといって、なくなってしまうばい、というのは、自転車を飛行機のように空を飛ばないからといって、「飛行機に負けたから消えるべき」というような話で、まったく意味のない話と思います。自転車には、飛行機にできないことができます。また、他言語集団の媒介の言語があったとしても、自分たちの連帯を保証する言語があれば、それは単に通じるという機能の他に人と人の結びつきをもたらすものであるとも思います。

また私の考えは独善的なものでなく、いわゆる言語権や言語的多様性に関する国内

外の憲章・規約・法規なり、種々の団体から出されている宣言にも見られるものであるということを紹介いたします。

まず、わが国では、1997年に施行させた「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」、略して、アイヌ文化振興法というものがああります。

この中の第4条に以下のように書かれています。

「国及び地方公共団体は、アイヌ文化の振興等を図るための施策を実施するに当たっては、アイヌの人々の自発的意志及び民族としての誇りを尊重するように配慮するものとする。」

そして、第2条の定義には以下のように書かれています。

「この法律において「アイヌ文化」とは、アイヌ語並びにアイヌにおいて継承されてきた音楽、舞踊、工芸その他の文化的所産及びこれらから発展した文化的所産をいう。」

この法律に基づいたできた財団法人に「アイヌ文化振興・研究推進機構」があります。

この財団では、アイヌ語の振興に関する事業として、アイヌ語弁論大会の開催事業の他に、アイヌ語指導者の育成事業、アイヌ語上級講座の開設事業、アイヌ語ラジオ講座の開設事業があります。

最後のアイヌ語ラジオ講座については、

STVラジオで日曜の早朝6時45分から、それから、土曜の深夜23時15分からやっています。テキストは財団から無料で配布されています。

次に、世界言語権宣言というものがあります。これは1996年6月、国際ペンクラブの翻訳・言語権委員会およびカタルーニャのCIEMEN（スペインのカタルーニャにある少数民族の調査・研究・支援を行う非政府組織）の呼びかけの応えて、NGO66団体、41のペンセンターおよび41人の言語法制の専門家、合計90カ国から220人がバルセロナに集まり、開催されたものです。

この中では以下のように書かれています。

「。。世界言語権宣言が、言語に関わる不均衡を是正し、すべての言語に対してその尊重と十全な発展の保証を与え、全世界規模での正当かつ公平な言語的平和の原則を社会的な共存を維持する主要因の一つとして確立するために必要と確信して。。。この宣言は、国家ではなく言語共同体にその基準を定め、また、この宣言は国際的制度を強化することを通じて、人類全体のために持続可能で公平な発展を保証しようとする枠組みのなかに位置付けられる。また同様の理由により、この宣言は相互尊重、調和的共存、相互利益を基礎とした言語的多様性のための政治的枠組みの創設を推進するものである。」

それから、大会の中でも言いましたが、

ご存じのように、ザメンホフは、ことばが
違うものどおしが、互いに引け目を感じる
ことなく、平等の権利を持って、互いに話
しを通じ、口承や文字による文学も教育も
理想も人間の尊厳や権利も平等の扱いにな
るように、エスペラントという言葉を作り
ました。

また、ザメンホフは、自分の言語集団や
宗教集団内部の生活では民族言語や民族宗
教を保持してもよいが、他民族との関連で
は、エスペラントを用いて、すべて中立な
人間的倫理や慣習や生活様式にしたがえば、
人類の平和のために民族が消滅する必要が
なく、他民族に不快を与えず、自民族の言
語や慣習を押しつけ合わないような生活様
式を見出すことができるとも考えました。

エスペラントは、このような思想で作ら
れたことばですが、1996年にプラハで開
かれた世界エスペラント大会の中で、現代
のエスペラント使用者の立場を明らかにす
るために宣言がなされました。

この中で「言語上の権利（言語権）」、「言
語の多様性（多言語主義）」というものが
あります。「言語上の権利」では、エスペ
ラントにより言語の間の不平等や紛争に対
する解決策を進展させ言語上の権利の保証
を目指すとしています。

また、「言語の多様性」では、すべての
言語は豊かさの源泉であるので、エスペラ
ントによりコミュニケーションを進展させ
ていくにあたり、すべての言語を尊重・支
持するために言語の多様性を目指すとして

います。

[プラハ宣言]

(言語権に関する部分)

5. 言語上の権利

言語間に力の不平等があることは、世界
の大部分の人々にとって、言語的な危機感
をもたらし、ときには直接の言語的抑圧と
なっている。エスペラントの共同体では、
母語の大小や公用・非公用を問わず、互い
の寛容の精神によって中立の場を集ってい
る。このような言語における権利と責任の
間のバランスは言語の不平等や紛争に対す
る新しい解決策を進展させ評価するための
先例となるものである。

いずれの言語にも平等な取り扱いを保証
する旨が多くの国際的文書に表明されてい
るが、言語間の力の大きな格差はその保証
を危うくするものであると、私たちは主張
する。私たちの運動は言語上の権利の保証
を目指すものである。

(多言語主義に関する部分)

6. 言語の多様性

諸国の政府は往々にして世界における言
語の多様性をコミュニケーションと社会発
展にとっての障害とみなしがちである。し
かし、エスペラントの共同体にとっては、
言語の多様性は尽きることなく欠くこと
のできない豊かさの源泉である。したがっ
て、それぞれの言語はあらゆる生物種と同
様にそれ自身すでに価値があり、保護し
維持するに値するものである。

もしコミュニケーションと発展に関する

政策がすべての言語の尊重と支持に基礎を置くものでないならば、それは世界の大多数の言語に死を宣告するものであると、私たちは主張する。私たちの運動は言語の多様性を目指すものである。

第 3 回国連総会で採択された「世界人権宣言」の第 2 条では、言語を人権の内容として位置づけています。

「すべての人は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的若しくは社会的出身、財産、門地その他の地位又はこれに類するいかなる事由による差別をも受けることなく、この宣言に掲げるすべての権利と自由とを享有することができる。」

第 21 回国連総会で採択された「国際人権規約」の B 規約の第 27 条においても言語を人権の内容として位置づけています。

「種族的、宗教的又は言語的少数民族が存在する国において、当該少数民族に属する者は、その集団の他の構成員とともに自己の文化を享有し、自己の宗教を信仰しかつ実践し又は自己の言語を使用する権利を否定されない。」

日本政府はこの国際人権規約を 1979 年に批准しています。少数民族の権利は上述のように B 規約第 27 条にあります。1980 年に日本政府は、規約人権委員会へ日本にはこの B 規約による少数民族は存在しないと報告しました。しかし、アイヌ民族も参

加した 1987 年の国連の「先住民族作業部会」で、政府はアイヌの存在を公的に認め、少数民族としての権利を享受できると説明しています。また、1991 年に国連に提出された報告書にも同様の説明がなされています。

第 47 回国連総会で採択された「民族的又は種族的、宗教的及び言語的少数者に属する者の権利に関する宣言」の第 2 条第 1 項には少数者の権利として以下のものがあります。

「民族的又は種族的、宗教的及び言語的少数者に属するものは、私的に及び公に、自由にかついかなる形態の差別もなしに、自己の文化を享有し、自己の宗教を信仰しかつ実践し、及び自己の言語を使用する権利を有する。」

以上です。「戦争と平和」を書いたロシアの文豪トルストイは、「エスペラントを広めることは神の国を創ることだ」と述べました。フランスのノーベル賞作家ロマン・ロランは「エスペラントは人類解放の武器である」と言いました。私は、すべての民族にとって平等であり、どの民族でもない中立の「橋渡し言語」であるエスペラントを作ったザメンホフの思想が、言語による差別をなくすことが目指しているものの一つであると固く信じています。

Manifesto de Prago プラハ宣言

エスペラント・日本語・沖縄語

2001年の道大会で感じたのですが、1996年の世界大会で発せられたプラハ宣言の存在を知らない人が、まだかなりいらっしゃるのではないのでしょうか。「エスペラントと多言語社会」という内容を企画した、そもそもの前提について、意識の差があったことが、盲点でした。いま、世界と日本と北海道のエスペラント運動は、とうに、言語権運動と合致しています。

その詳しい内容は横山さんの文を見ていただくとして、基本資料の、21世紀エスペラントの常識「プラハ宣言」を改めてここに掲載します。沖縄語版は、道大会の記念品として、参加者に渡されました。

Manifesto de Prago

de la Internacia Lingvo Esperanto

Ni, anoj de la tutmonda movado por la progresigo de Esperanto, direktas ĉi tiun manifeston al ĉiuj registaroj, internaciaj organizoj, kaj homoj de bona volo; deklaras nian intencon firmvole plulabori por la celoj ĉi tie esprimitaj; kaj invitas ĉiun unuopan organizaĵon kaj homon aliĝi al nia strebado.

Lanĉita en 1887 kiel projekto de helplingvo por internacia komunikado, kaj rapide evoluinta en vivoplenan, nuancoriĉan lingvon, Esperanto jam de pli ol jarcento funkcias por kunligi homojn trans lingvaj kaj kulturaj baroj. Intertempe la celoj de ĝiaj parolantoj ne perdis gravecon kaj aktualecon. Nek la tutmonda uzado de kelkaj naciaj lingvoj, nek progresoj en la komunikad-tekniko, nek la malkovro de novaj metodoj de lingvoinstruado verŝajne realigos jenajn principojn, kiujn ni konsideras esencaj por justa kaj efika lingva ordo.

1. Demokratio. Komunika sistemo, kiu tutvive privilegias iujn homojn, sed postulas de aliaj, ke ili investu jarojn da penoj por atingi malpli altan gradon de kapablo, estas fundamente maldemokratia. Kvankam, kiel ĉiu lingvo, Esperanto ne estas perfekta, ĝi ege superas ĉiun rivalon en la sfero de egaleca tutmonda komunikado.

Ni asertas, ke lingva malegaleco sekzigas komunikan malegalecon je ĉiuj niveloj, inkluzive de la internacia nivelo. Ni estas movado por demokratia komunikado.

2. Transnacia edukado. Ĉiu etna lingvo estas ligita al difinita kulturo kaj naci(ar)o. Ekzemple la lerneĵano kiu studas la anglan lernas pri la kulturo, geografio kaj politiko de la anglalingvaj landoj, precipe, Usono kaj Britio. La lerneĵano kiu studas Esperanton lernas pri mondo sen limoj, en kiu ĉiu lando prezentiĝas kiel hejmo.

Ni asertas ke la edukado per iu ajn etna lingvo estas ligita al difinita perspektivo pri la mondo. Ni estas movado por transnacia edukado.

3. Pedagogia efikeco. Nur malgranda procentaĵo el tiuj, kiuj studas fremdan lingvon, ekmastras ĝin. Plena posedo de Esperanto eblas eĉ per memstudado. Diversaj studoj raportis propedeŭtikajn efikojn al la lernado de aliaj lingvoj. Oni ankaŭ rekomendas Esperanton kiel kernan eron en kursoj por la lingva konsciigo de lernantoj.

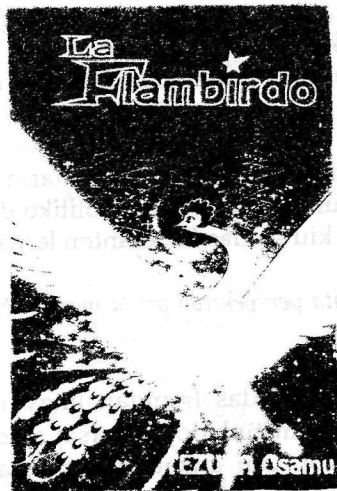
Ni asertas ke la malfacileco de la etnaj lingvoj ĉiam prezentos obstaklon por multaj lernantoj, kiuj tamen profitus el la scio de dua lingvo. Ni estas movado por efika lingvoinstruado.

4.Plurlingveco. La Esperanto-komunumo estas unu el malmultaj mondskalaj lingvo-komunumoj kies parolantoj estas senescepte du - aŭ plurlingvaj . Ĉiu komunumano akceptis la taskon lerni almenaŭ unu fremdan lingvon ĝis parola grado. Multokaze tio kondukas al la scio de kaj amo al pluraj lingvoj kaj ĝenerale al pli vasta persona horizonto. Ni asertas ke la anoj de ĉiuj lingvoj, grandaj kaj malgrandaj, devus disponi pri reala ŝanco por alproprigi duan lingvon ĝis alta komunika nivelo. Ni estas movado por la provizo de tiu ŝanco.

5.Lingvaj rajtoj. La malegala disdivido de potenco inter la lingvoj estas recepto por konstanta lingva malsekureco, aŭ rekta lingva subpremado, ĉe granda parto de la monda loĝantaro. En la Esperanto-komunumo, la anoj de lingvoj grandaj kaj malgrandaj, oficialaj kaj neoficialaj, kunvenas sur neŭtrala tereno, dank' al la reciproka volo kompromisi. Tia ekvilibro inter lingvaj rajtoj kaj respondecoj liveras precedencon por evoluigi kaj pritaksi aliajn solvojn al la lingva malegaleco kaj lingvaj konfliktoj . Ni asertas ke la vastaj potencodiferencoj inter la lingvoj subfosas la garantiojn, esprimitajn en tiom da internaciaj dokumentoj , de egaleca traktado sendistinge pri la lingvo. Ni estas movado por lingvaj rajtoj.

6.Lingva diverseco. La naciaj registaroj emas konsideri la grandan diversecon de lingvoj en la mondo kiel baron al komunikado kaj evoluigo. Por la Esperanto- komunumo, tamen, la lingva diverseco estas konstanta kaj nemalhavebla fonto de riĉeco. Sekve, ĉiu lingvo, kiel ĉiu vivaĵospecio, estas valora jam pro si mem kaj inda je protektado kaj subtenado. Ni asertas ke la politiko de komunikado kaj evoluigo, se ĝi ne estas bazita sur respekto al kaj subteno de ĉiuj lingvoj, kondamnas al formorto la plimulton de la lingvoj de la mondo. Ni estas movado por lingva diverseco.

7.Homa emancipiĝo. Ĉiu lingvo liberigas kaj malliberigas siajn anojn, donante al ili la povon komuniki inter si, barante la komunikadon kun aliaj . Planita kiel universala komunikilo, Esperanto estas unu el la grandaj funkciaj projektoj de la homa emancipiĝo - projekto por ebligi al ĉiu homo partopreni kiel invididuo en la homara komunumo, kun firmaj radikoj ĉe sia loka kultura kaj lingva identeco, sed ne limigita de ili. Ni asertas ke la ekskluziva uzado de naciaj lingvoj neeviteble starigas barojn al la liberecoj de sinesprimado, komunikado kaj asociiĝo. Ni estas movado por la homa emancipiĝo.



手塚治虫「火の鳥・未来編」
宇宙編・鳳凰編も出るといふ

国際語エスペラント運動に関するプラハ宣言

この宣言は1996年7月、チェコのプラハで開かれた第81回世界エスペラント大会で採択されたもので、21世紀を前にした国際語運動の原則と目的を指し示すとともに、現代社会におけるエスペラント語使用者の立場を明らかにしようとするものです。

世界エスペラント協会はこの宣言を、エスペラント語使用者であるか否かを問わず、多くの方々に提示して、検討を支持をお願いすることを決めました。宣言はすでに多くの言語に翻訳され、同協会を構成する各国のエスペラント組織の手で広く市民の間に頒布され、賛同の署名を集めています。

宣言が提起している問題は、平等で民主的なコミュニケーションの発展が、人間の未来にとって不可欠であると考える人々にとって、さらに国際語の必要性について真剣な考慮を払おうとする人々にとって、検討に値する十分な内容を持っていると私たちは考えています。

日本語訳：日本エスペラント学会

私たち、エスペラントの発展のための世界的な運動に加わる者たちは、この宣言をすべての政府、国際組織および良心ある人々に対して送り、ここに表明された目標に向けて私たちが不撓の決意をもって活動し続けることを宣言するとともに、それぞれの組織と個人とが私たちのこの努力に加わるよう呼びかける。

エスペラントは、1887年に国際的コミュニケーションのための補助言語案として提唱された後、生命力と表現力に富んだ言語へと速やかな発達を遂げ、すでに一世紀以上にわたって言語と文化の壁を越えて人々を結びつける働きを果たしてきた。エスペラントの使用者たちが目指してきた理想は今なお重要性和現代的意義を失っていない。私たちは公正で効果的な言語秩序のためには以下に述べる原則が必須であると考え、いずれかの民族語を世界語として使用しても、また今後いかに通信技術が進歩し、新しい言語教育法が開発されるにしても、これらの原則を実現することはできないであろう。

1. 民主性

あるコミュニケーションのしくみが、特定の人々には一生涯の特権を与える一方で、他の人々にはより低い段階の能力の獲得にさえ多年の努力をつぎ込むよう求めるなら、それは根本において反民主的なものである。エスペラントは、他の言語と同様に、完全ではないが、平等な全世界的コミュニケーションという領域では、どの競合する言語に比べてもはるかにまさっている。

言語の不平等は、国際レベルを含めたあらゆるレベルにおいて、コミュニケーションの不平等を生み出すものであると、私たちは主張する。私たちの運動は民主的なコミュニケーションを目指すものである。

2. 民族性を越えた教育

民族語はそれぞれ特定の文化・国家と結びついている。例えば、英語を学習する生徒は英語圏の諸国、特にアメリカ合衆国とイギリスの文化・地理・政治について学ぶことになる。それに対してエスペラントを学習する生徒は、国境のない世界について学ぶのであって、そこではどの国も故国と見なされる。

いずれの民族語を用いた教育も特定の世界観に結びついていると、私たちは主張する。私たちの運動は民族性を越えた教育を目指すものである。

3. 教育上の効果

外国語を学習する人の中で、それを習得できる人の割合はごく低い。それに対してエスペラントの習得は独習によっても可能であり、他の言語を学ぶための予備的学習としての効果についてもさまざまな研究報告がある。また、生徒の言語意識を高めるための教科においてエスペラントを中核に位置づけるよう勧める声もある。

民族語の学習は難しく、第二言語の知識があればそれによって益を受けるはずの多くの学習者にとって常に障害となり続けるであろうと、私たちは主張する。私たちの運動は効果的な言語教育を目指すものである。

4. 多言語性

エスペラントの共同体は、その構成員が例外なく二つ以上の言語を話すという、世界的規模の言語共同体としては数少ない例の一つである。構成員はそれぞれ、少なくとも一つの非母語を会話のできる程度まで学ぶことを自己に課している。多くの場合、このことは複数の言語に対する知識と愛着をもたらし、ひいてはその人の視野をより広くすることにつながっている。

どの言語の話し手にも、その言語の大小を問わず、コミュニケーションが可能な高い水準まで第二言語を習得する現実的な機会が与えられていてしかるべきだと、私たちは主張する。私たちの運動はその機会を提供するものである。

5. 言語上の権利

言語間に力の不平等があることは、世界の大部分の人々にとって、言語的な危機感をもたらし、ときには直接的な言語的抑圧となっている。エスペラントの共同体では、母語の大小や公用・非公用を問わず、互いの寛容の精神によって、中立の場に乗っている。このような言語における権利と責任の間のバランスは、言語の不平等や紛争に対する新しい解決策を進展させ評価するための先例となるものである。

いずれの言語にも平等な取り扱いを保障する旨が多くの国際的文書に表明されているが、言語間の力の大きな格差はその保障を危うくするものであると、私たちは主張する。私たちの運動は言語上の権利の保障を目指すものである。

6. 言語の多様性

諸国の政府は往々にして世界における言語の多様性をコミュニケーションと社会発展にとっての障害とみなしがちである。しかし、エスペラントの共同体にとっては、言語の多様性は尽きることなく欠くことのできない豊かさの源泉である。したがって、それぞれの言語はあらゆる生物種と同様にそれ自身すでに価値があり、保護し維持するに値するものである。

ブラハ宣言(沖縄語版)

この沖縄語版につきましては、沖縄人で沖縄語の復権運動にご尽力なさっている南謡出版の比嘉清さんがご協力してくださったおかげで完成することができました。ここに改めて感謝申し上げます。作文するにあたって、南謡出版の「うちなあぐち教本」は大変役立ちました。本格的に沖縄語による散文活動をお考えの方は、是非購入してお使いになることをお勧めします。なお、沖縄語は琉球語の中の一つです。

この沖縄語訳の中の漢字の読み方ですが、辞書にある単語など主なものについては、カッコ書きでふりがなを入れています。日本語の共通語との間には、共通語の工行と才行が、沖縄語イ行とウ行にあたるという傾向にあると言われますが、ふりがなを入れていない伝統的な沖縄語でないと考えられるものについては、沖縄語の中では外来語と捉えられるので、共通語の読み方で読んでよいと考えます。

国際語エスペラント運動ぬブラハ宣言

わったあ、エスペラント語(ぐち)ぬ発展ぬたみ、世界的やる運動んかい、揃(すり)とおる者(むん)たあや、くぬ宣言、むるぬ政府、国際組織とう良心ある人々(ちゆぬちゃあ)んかい送(うく)てい、くりなかい表(あら)わさとおる目標んかい、向(ん)かてい、わったあや、不退転ぬ決意むち、むとううち、活動し、いちゆるくとう、うんぬきてい、なあめえめえぬ組織とう個人とうが、わったあぬくぬ努力とう、まじゅんなゆるくとう、呼(ゆ)びかきゆん。

もしコミュニケーションと発展に関する政策がすべての言語の尊重と支持に基礎を置くものでないならば、それは世界の大多数の言語に死を宣告するものであると、私たちは主張する。私たちの運動は言語の多様性を目指すものである。

7. 人間の解放

いかなる言語も、その使用者間のコミュニケーションを可能にすることによって人々を自由に行っている一方で、他の人々とのコミュニケーションを阻害することによって不自由にもしている。全世界的なコミュニケーションの道具として立案されたエスペラントは、人間解放の大きな実際の事業の一つである。すなわち、すべての人が各自の地域文化や言語的独自性にしっかりと根ざしていながらそれに制約されず、人類の共同体にその一員として参加することを可能にする事業なのである。

数ヶ国の民族語のみを使うことは自己表現やコミュニケーション、連帯の自由に対する障害となることが避けられないと、私たちは主張する。私たちの運動は人間の解放を目指すものである。

エスペラント語(ぐち)や、1887にんじ、國際的コミュニケーションめたみぬ補助的言語案んでいさあに提唱さつたるあとう、生命力とう表現力めまんどおる言葉(くとらば)んかい、早々(ふええべえ)とう発達さあい、なあ、一世紀あまい、言葉(くとらば)とう文化め境(さあけえ)、無(ね)えんなち、人々(ちゆぬちやあ)結(むす)びちきゆる働(はたら)ちとじみやん。エスペラント語(ぐち)使(ちか)ゆる人々(ちゆぬちやあ)が、目当(みあ)ていしちやる理想や今(なま)ちきてい、重要性とう現代的意義、失(うしな)てえねえん。わったあや、公正なてい効果的やる言語秩序めたみなかいや、以下んじ言(ゆ)る原則め必須やんでい考(かんげ)えゆしが、じるぬ民族語、世界語とし、使(ちか)らはん、また今(なま)から後(あとう)、ちゃんすか通信技術ぬ進(し)でい、みいさる言語教育法ぬ開発さりらはん、くんとおる原則、実現するくとおならんさに。

1. 民主性

あるコミュニケーションめしくみが、特定ぬ人々(ちやぬちやあ)んかいや、一生涯(いちみとうとうみ)ぬ特権、くいゆしが、他(ふか)ぬ人々(ちやぬちやあ)んかいや、くうてんぐわあぬ能力、獲得すしんちようん、長えさる年月が間(ええだ)、うみはまらんでえ、ならんくとう、求(むとう)みゆるむんやれえ、うりえ、あたまに反民主的やるむぬやん。エスペラント語(ぐち)や、他(ふか)ぬ言葉(くとらば)とういぬぐとう、完全やあらんしが、平等やる全世界的コミュニケーションんでいゆる領域んじえ、ちやぬような競合する言葉(くとらば)とう比(くら)びやらはん、でええじな、まさゆん。

言語ぬ不平等や、國際レベルん、合(あ)あち、あるつさぬレベルうとおてい、コミュニケーションぬ不平等、なするむぬやんでい、わったあや、宣言すん。わったあぬ運動や、民主的やるコミュニケーション、目当(みあ)ていとうするむぬやん。

2. 民族性ぬ無えん教育

民族語や、なあめえめえ特定ぬ文化・国家ていいちなとおん。たとうれえ、英語、習(なら)ゆる生徒や英語圏ぬ諸国、特(かわ)てい、アメリカ合衆国とうイギリスぬ文化・地理・政治にちいてい習ゆる事(くと)なゆん。うりとおかわてい、エスペラント、習ゆる生徒や国境ぬ無(ね)えらん世界にちいてい習ゆるくとうないくとう、まあぬ国(くに)ん自(どう)うぬ国とういぬむんやん。

じるぬ民族語、使(ちいか)ゆる教育ん特定ぬ世界観とう結(むす)ばつとおんでい、わったあ、宣言すん。わったあぬ運動や、民族性ぬ無えん教育、目当(みあ)ていとうするむぬやん。

3. 教育上ぬ効果

外国語、習(なら)ゆる人々(ちやぬちやあ)ぬなかんじ、うり、とらいうびゆる人々ぬ割合や、しくいきらさん。うりとおかわてい、エスペラントとらいうびすせえ、独(どう)う一人(ちゆい)しん、なゆい、他(ふか)ぬ言葉(くとらば)、習ゆるたみぬ予備的学習ぬ効果にちいていん、いるんな研究報告ぬあん。また、生徒ぬ言語意識、高(たか)みゆるたみぬ教科うとおてい、エスペラント、中核んかいすんねえし、勸(し)ぬる声(くい)んあん。

民族語、習ゆせえ、難(むちか)さぬ、第二言語ぬ知識ぬあれえ、うりなかい、益(いち)、受(う)きたるはじやる多(うふ)くぬ習やあんかいとうてい、かたくじら、妨(ふせぎ)ぎとう、なていいちゆんでい、わったあや、主張すん。わったあぬ運動や、効果的やる言語教育、目当(みあ)ていとうするむぬやん。

4. 多言語性

エスペラントぬ共同体や、誰(たあ)やていん例外ん無(ね)えな、たあちういいぬ言葉(くとらば)、話(はな)しゆるすんでいゆる世界的規模ぬ言語共同体うとおてい、数(かじ)ぬいきらさる例(りい)ぬていいちやん。構成員や、なあめえめえ、一番(いちばん)いきらさていん、ていいぬ非母語、会話なゆるあたいまでい習(なら)ゆる事(くと)う、どうぬあたいまえすん。てえげえぬばあや、くぬくとうや、複数ぬ言語んかいぬ知識とうかなさ、むたらち、あとうあとう、うぬつちゆぬ視野、広(ふい)るぎゆる事(くと)んかい、ちなじゆん。

ちやぬような言語ぬ話(はな)する人々(ちやぬちやあ)ん、うぬ言語ぬ大小、間(と)うらな、コミュニケーションが、可能やる高(たか)さる水準までい、第二言語、習ゆる現実的やる機会(ばす)が、くいらりいびちいやんでい、わったあや、主張すん。わったあぬ運動や、うぬ機会、くいゆるむぬやん。

5. 言語上め権利

言語間め力め不平等がある事(くとう)や、世界(しけえ)ぬ多(うふ)くぬ人々(ちやぬちやあ)んかいとうていえ、言語め危機感、むたらち、また、まるけえてえ、直接め言語的抑圧とうなどおん。エスペラントめ共同体んじえ、母語め大小とうか公用・非公用、間(とう)うらな、たげえぬ寛容(かんぬう)ぬ胆心(ちむぐる)にゆてい、中立め場(ばあ)んかい、すりとおん。かねる言語うとおていぬ権利とう責任めバランスや、言語め不平等とうか紛争んかいぬ、みい解決策、進展しみてい評価するたみぬ先例なゆるむぬやん。

ちやぬような言語んかいん、平等やる取(とう)い扱(あちけ)え、保証する旨ぬ、多(うふ)くぬ国際的文書なかい表明さつとおしが、言語間め力(ちから)ぬまぎさる格差や、うぬ保証、うかあくする事(くとう)やんでい、わったあや、主張すん。わったあぬ運動や、言語め権利め保証、目当(みあ)ていとうするむぬやん。

6. 言語め多様性

諸国め政府や、いいくる、世界(しけえ)うとおていぬ言語め多様性や、コミュニケーションとう社会発展んかいとうてい妨(さまた)ぎやんでい、考(かんげ)えぎさあやん。やしが、エスペラントめ共同体んかいとうていえ、言語め多様性や、はていゆる事(くとう)ぬねえん、欠(か)ぎらちええならん豊(ゆ)ちくぬ泉(いずん)やん。やくとう、なあめえめえ言語や、まじりぬ生物種とういぬぐとう、うりんかいや、なあ価値ぬあるむんやい、守(まむ)てい、維持する値(にうち)ぬあるむぬやん。

むし、コミュニケーションとう発展め政策め、まじりぬ言語め尊重とう支持んかい、基礎、うかんあいや、うりえ世界ぬちやっさきいぬ言語んかい、死、宣告する事(くとう)やんでい、わったあや、主張すん。わったあぬ運動や、言語め多様性、目当(みあ)ていとうするむぬやん。

7. 人間め解放

ちやぬような言語ん、うぬ使用者が互(たげ)えにコミュニケーション、ない事(くとう)なかい、人々(ちやぬちやあ)、自由なちよおししが、うりがまた、他(ふか)ぬ人々(ちやぬちやあ)とうぬコミュニケーション、妨(さまた)ぎゆる事(くとう)にゆてい、不自由ん、しみとおん。全世界的やるコミュニケーションめ道具(どおぐ)とうさあい、作(つく)らつとおるエスペラントや、人間解放めまぎさる実際の事業ぬていいちやん。やくとう、むるぬ人(ちや)が、なあめえめえめ地域文化ていはい言語的独自性んかい、しかつとう、根付(にいじ)ちよおしが、うりなかい制約やさらな、人類め共同体んかい、うぬ一員とうし、参加なゆんねえ、なする事業やん。

数ヶ国め民族語びけえん、使(ちか)ゆる事(くとう)や、自己表現ていはいコミュニケーション、連帯め自由め妨(さまた)ぎなゆる事(くとう)んかい、なゆんでいわったあや、主張すん。わったあぬ運動や、人間め解放、目当(みあ)ていとうするむぬやん。

IMAGINE

de John Lennon

trad. Manuel Pancorbo

Imagu nin sen chielo,
post klopod' sukcesos vi,
sen Infer' sub niaj piedoj
kaj nur steloj super ni.
Imagu chiujn homojn
gajaj pro felich'...

Imagu nin sen landoj.
ne hezitu pro la pen',
neniu hom' mortigenda
pro ia religia dev'.
Imagu chiujn homojn
vivaj kaj en pac'...

Vi ja pensas min revulo
sed jam estas pluraj pli.
Mi esperas vin anighi,
ek la mond' al unuigh'.

Imagu nin senmonaj,
certu, ja facila task',
sen malsat', sen avaremo,
en fratsento la homar'.
Imagu chiujn homojn
pretaj por donad'...

Vi ja pensas min revulo
sed jam estas multaj pli.
Mi esperas vin anighi,
ek la mond' al unuigh'.

苫小牧エスペラント会の活動

Raporto de Tomakomaja Esp. - Societo

(2000\Okt. ~2001\Sept.)

*Regula Kunsido: 2-foje monate, vespere en la Centro de kulturaj interesanĝoj(karesnome: ajvii-plaza, de angla ivy-plaza - ni provizore nomu IV-Placo). Ni havas du kursojn. Por la elementa kurso ni uzas "La Unua Kurslibro"-n kaj por la progresintoj ni uzas "Lasu nin paroli plu!" de Claud Piron.

*Zamenhofa Memorkunveno: Dec\18 En IV-Placo kunsidis 5 anoj. Ni kantis Espero-n, Tagiĝon, aŭskultis raporton, diskutis, babilis, havis bankedeton en Cugaruja.

*Jan.\27:Novjara Bankedo ĉe la hejmo de HOŠIDA. Kunsidis 6, inkluzive de eksano S-ro Jokojama el Sapporo. Ges-roj Kageura insistis, ke HEL klar-igu fundamentan principon esti esperantisto en sia statuto.

*Elementa Kurso: Ekde la 16-a de junio laŭ la plano. Reklamis per Urba Informilo kaj flugfolioj, sed bedaŭrinde aperis neniu nova lernonto.

*Festivalo de la civilaj grupoj en IV-Placo dum 23a-26a/aŭgusto. Ni ekspoziciis fotojn kaj raportojn pri Zagreba UK, pri tombejo de japanaj militkaptitoj laŭ la informo de rusa esp.-grupon Naberejnie Ĉelni.

*Pri la tombejo (en Jelabuga, Tatara Respubliko) ni kontaktis kelkaj eksmilitkaptitoj el Jelabuga k.a.

(Pri tio HEL informis Socian Sekcion de ĵurnalo Hokkajda pri tio)

*例会: 月2回火曜1800~2100, 市文化交流センター(愛称アイビープラザ)にて。入門コースは La Unua Kurslibro, 中等コースは "Lasu nin paroli plu!" 読んでいる。

*ザメンホフ祭: 12月18日アイビープラザにて。5人参加。活動報告、討議のあと、津軽屋で懇親会。

*1月27日星田宅で新年会。札幌からの元会員 S-ro 横山を含め6人参加。HEL規約にエスペランチストの定義を入れるべきだとの意見も出た。

*入門講習会: 5月16日よりアイビープラザで。と予定。市広報、チラシ、ポスターで宣伝したが参加者なし。

*アイビープラザ・サークルまつり: 8月23日~26日、エスペラント展を開く。ザグレブUK、ロシア・タタール共和国エラブガの日本人捕虜の墓地のこと(ナベレジニエ・チェルニのエスペラント会からの連絡)等を展示。

*この墓地については国内・道内の元捕虜(抑留者)組織に連絡した。

(HELとしては、北海道新聞社会部に連絡、経過を説明した)

第2回HEL委員会報告

10月27日(土)札幌市 ロンデタージョ
星田淳、佐藤英治、松野元、樺山裕介、佐藤不二雄、鈴木佳子(事務局)、横山裕之
(文書報告)

横山からの報告によると、10月26日でホームページアクセスが8675件、メールマガジン購読者数が846件。日本大会のホームページコンテストで1位になった。

メールマガジンを、日本エスペラント青年連絡会と共同で発行できるか打診している。先住民族のためのエスペラント誌Tantamoの和訳および漆工芸紹介文のエス訳添削について、報告。道大会の総括では時間の使い方や、委員立候補依頼の不手際などの反省が挙げられた。総会決議事項を確認し(別項)、来年の道大会はDPI札幌大会後の10月27~28日に行う線で検討する。DPI札幌大会への協力照会は樺山がする。極東ロシア訪問団として参加し、ウラジオストックから帰国した樺山が、国際青年学生大会および平和基金訪問などの体験を話した。団長の宮沢はまだ帰国していない。議定書の交渉は、樺山が帰国する時点ではまだ行われていなかった。新年講習会は1月12~14日に行う。入門講師は佐藤(不)担当に。中級は、過去の例から検討したが、内容は未決。星田が、日本エスペラント学会の評議員への、北海道からの立候補者を求めたが、委員会出席者からは特に新しい推薦者は無く、以前と同じく、星田が再度、応募することに。

2001年度決算、2002年度予算、大会決算は、会計監査を通らなかった。やり直したうえで、臨時委員会を召集して承認を取り、機関誌を通じて連盟員に問うことにする。

臨時委員会でない次回の委員会は、12月1日17:00よりロンデタージョで。

故・中里和夫さんの奥様・恵子様より20万円の寄付を頂戴しました。星田委員長より次のような礼状をさしあげました。

中里恵子様

苫小牧 2001.10

この度北海道エスペラント連盟に対して多額の御寄付をいただき、まことにありがとうございました。今後我々の活動に役立てさせていただくつもりです。

7月逝去された中里和夫様の、エスペラント運動および当連盟に対する多大の貢献は我々の記憶に深く刻まれております。もう昔になります、私もずいぶんお邪魔したものでした。トイレに小書斎(?)があるのに驚き、忙中寸暇を忽せにしない努力に感服した人は多かったと思います。会話中にも何かに感ずると「それは、どういうことか、説明してくれますか」とメモを取り始めるあの研究心も今懐かしく思い出されます。

その後千歳であとを継ぐ方が見当たらないのがちょっと心残りですが、あせらず努力していきたいと思っております。寒さに向かう頃、健康に御留意なさってください。北海道エスペラント連盟委員長 星田 淳

恵子様より星田あて

その節は御心づかいを有り難うございました。ご丁寧な御書面をいただき恐縮いたして居ります。エスペラントはじめ愛読した書籍、テープに埋もれて娘達にみとられ静かに終えました。本望だったと思います。

[第3回委員会報告] 11月24日(土)

.8時より 札幌市 Rondetagoにて

出席者：宮沢直人、鈴木佳子(事務局)、
佐藤英治、星田淳(記録)、松野元

《審議事項》

1.年間計画表、委員会チェックリストの報告、確認

今後定例の行事は早めに記入し準備にかかるようにする。

2.2001年度決算、2002年度予算の件

会計担当者(松野)から案が提出され、審議承認された。

9月の総会で承認されるはずのものが遅れた原因、対策、おわびと、予算の説明は、担当者が機関誌上に発表する。

3.次年度大会の件

LKK体制を速やかに確立すること(目標：SESザメンホフ祭)。

日程はDPI(10月15~18日)、日本大会(福島)、等を考慮して決定する。

DPIとの関連を考えれば障害者エスペランティストの招待や、大会テーマ選定(例えば「障害者エスペラント運動から学ぶ」など)が考えられる。

以上を踏まえてSESとの協議担当 佐藤

企画案作成担当 宮沢、佐藤

4.極東ロシア訪問団報告

宮沢団長が報告、協定書が承認された。

この協定書は JEI, KLEG, Esperanto en Azio に送る(担当：宮沢)。

5.新年講習会の件

総括責任者は宮沢、企画責任者は樺山(電話協議で了解済み)とする。

初級講習の講師は佐藤(不二雄)、中級は Mazi を使ったの会話実習とし、講師は樺山

日程は1月12日(土)~14日(月)とし、学習、ロシア訪問団報告会、HEL委員会、Bankedoを行う。

会費はエスペランティスト2000円、非エスペランティスト(ロシア訪問団報告会だけを聞きに来る人を含め)500円。

食費、Bankedo 会費は上記に含まず、実費(割り勘)とする。

6.その他

*Jelabuga 日本人墓地関係：道新の記事について、問い合わせが来ている。星田が返事する。

*Novosibirsk(札幌の姉妹都市)からのメール：交流を希望している。Heroldo に出し、交流を進めたい。

*S-ro 中里 の遺族からの寄付(20万円)の活用法について：

連盟旗の新調、ザメンホフ全集の購入、毎年の大会充実基金としての活用、などの案(選択肢)が出された。

*Al Vi Kara:N-ro 91(2001 sep.),京都E会、B5 X24頁の内E文4頁。Ni vigle agadas en Kioto! は昨年10月以来の活動の列挙。時々こんなまとめが出るのはよい。「お客の受入れあれこれ」はPasporta Servo の苦労いろいろ。

*Eskalo 第93号、2001年9月、川崎エスペラント会、B5X4頁、ほとんど日本文。「韓国E大会に参加して」：高校を訪問したら日本語の「いじめ」がそのまま通用していた。こちらでも問題だという。

*インターナショナル フェスティバル (川崎市国際交流協会主催、11月18日)のチラシ：「エスペラントの会話教室」が参加している。

*Mejlstono 2001 SEPTEMBRO, N-ro 167 仙台E会：B5X8頁の内E文は2頁。9月の東北大会参加者68名(内不在参加31)

*NOVA VOJO:2001.9 N-ro 366 sept. A5 X32頁、内E文約5頁。UK(Zagreb)報告が11頁あるが、「2006年に日本で世界大会を…」との日本代表発言(9頁下)は早トチリ(誤報?)らしい。

*Novajoj Tamtamas:N-ro 173, Septembro 2001, A4X4 頁、全文エスペラント、JER (=Jokohama Esperanto-Rondo) バナナ紙製造計画、KCE(Kultura Centro Esperantista, Svislando)での講座報

*PONTETO:(S)Eptembro 2001 N-ro 189: 関東エスペラント連盟(ELK):B5X12 頁のうちE文6頁半。米同時多発テロに関するUEA 会長その他の発言が3頁。一昨年NATOに空爆されたユーゴE連盟からも米国の犠牲者を悼み、平和的手段によるテロ根絶を訴えるあいさつ。sovinisma tajdo kaj lernolibroj(E文)も1頁。

*Hokkaido Romazi Kenkyo No.110 (復刊83?)北海道ローマ字研究会発行、Hs. 13 n. 09gt. 21nt. B5X 8頁、和文。受贈資料に H. de HEL, Danke Ricevitaj に言及。

*センター通信：2001年9月25日、N-ro 227、B5X12頁、日本文。時々出るセンター運動史、今1975年のところ。

*スパイ・宮崎学を許さない：公調のスパイを許さない市民の会 2001.9.25発行 268X205mm, 16頁、日本語

*LA SUNO:N-ro 75, 2001.9.25, 山梨エスペラント会、B5 X18頁のうちE文6頁半。S-ro Nakazawa Hirofumiが米国のエスペランチストに送った同時テロ見舞いに対してきた礼状7通が紹介されている。復讐を語るものなし。

*SFERILO:変形A 4版1枚2頁。SFERO (=San Francisco Esperanto Regional Organization) 発行、10月例会予告号。

*La Vulkanio: N-ro 138, Aŭtuno 2001 : LA ORGANO DE HUKUOKA ESPERANTO-SOCIETO:B5 X 8頁中E.文3頁。1頁に韓国E大会の記事と写真。ほかにも外国人エスペランチストと一緒に写真3枚、すべてカラーで入っている。「合宿」の始まりといわれる1961年の野辺山合宿の思い出を井上優が書いている。

*La Movado N-ro 608 okt. 2001, B5 X 16 頁の内E文は計5頁。「ザグレブの姉妹都市番組で」(田平正子)はUKをどう楽しませ効果的なものにするかの準備と工夫。「KLEG50年の歩みを展望する(小林司)」はエスペランチストとして見た戦後史と言える。教科書問題についての韓国E大会決議についても1頁。

*NOVA VOJO:2001.10:N-ro 367 oktobro A5 X32頁、内E文約4頁。「ジョエルからの手紙」は9.11以後の米国で思うことを伝えている。

*Novajoj Tamtamas:N-ro 174, Oktobro 2001, JER, A4X4頁、全文エスペラント、大部分が Zagreba UK の記事

*La Tamtamo: 第328号(2001年10月, JER), A4 X 4 頁、1-a p. の Anoncoj以外

和文。UK関係が多い。「クロアチア雑感 (相田弥生)」では Julio Baghy の未公開の恋文の話も出てくる。

*SFERILO:変形A 4版1枚2頁。SFERO 発行、11月例会予告号。9月14~16日カナダ太平洋岸で開かれた NOREK (Nord-Okcidenta Regiona Esperanto-Konferenco) は11日のテロ攻撃の直後で旅客機飛行停止、サンフランシスコからはだれも参加できなかったとのこと。

*外国人エスペ란チストの話を書く: Aŭskulti Alilandajn Esperantistojn B5 X185 頁、日-E二言語、写真入り、熊本エスペラント会、2001.10.1 発行 昨年の第87回日本エスペラント大会に招待した外国人エスペ란チスト(5人)の、大会後熊本県各地での講演会、バンドマイム、座談会などの記録。大会後一週間にわたり、市民向け5回のほか3高校、2大学、1専門学校を廻っている。

*La Movado N-ro 609 nov. 2001, B5 X 16頁の内E文は1頁半。韓国大会、東北大会、北海道大会の記事あり。

*関西エスペラント連盟図書目録 2002 (Librokatalogo 2002), Libroservo de KLEG, 2001年11月1日発行, B5 X20頁、学習書、文学作品、マンガからカセットテープ、CD, パソコンソフトまで。

*逃げまわる三角忠を追撃せよ: 日本革命的共産主義者同盟・革マル派、A3X2枚両面、日本語。

*La Tamtamo: 第329号(2001年11月, JER), A4 X 4 頁、3-a p. の Anoncoj 以外日本語。日本大会で Istvan Nemere の eksedzino に会った話も。

*Novajoj Tamtamas: N-ro 175, Novembro 2001, JER, A4X4頁、全文E. 先日星田に

メールをよこしたタジクの S-ro Šukurov Firdaus からの来年の Dušanbeでの Tendaro への誘いが出ている。

*NOVA VOJO: 2001.11: N-ro 368 novembro A5 X32頁、内E文約5頁。宗教祭典出席のためニューヨーク滞在中に同時多発テロに遭遇した報告。El tiu libro, el ĉi tiu libro では URUSIO(漆)の「梨地(なしじ)」と、ペルシア語のナスィージュから名づけられたというモンゴルの高級織物ナシジとの関係を問うている。日本大会記事(写真10枚入り)6頁。「エスペラント何でもESEO」では「テロリズムはアメリカへの神の声か」(三好鋭郎)が紹介されている。

*PONTETO: Novembro 2001 N-ro 190: 関東エスペラント連盟(ELK): B5X12 頁の内E文5頁。青年海外協力隊平成13年度春の語学問題(エスペラント文から文法、意味を推定させる)が出ている。エコーはがき基金への寄付お願い同封。

*Mejlŝtono 2001/11 N-ro 168, 仙台E会: B5X8頁の内E文は4頁。

*センター通信: 2001年11月8日、N-ro 228, B5X12頁、日本文。

*増刷のお知らせ「エスペラント原典」(Fundamento de Esperanto): 水屋舎。1部1000円+送料200円、2部以上送料無料、部数によって1部700円まで割引

*La Movado N-ro 610 dec. 2001, B5 X 16頁の内E文は1頁半。日本大会関係記事3頁。HELのホームページ・コンテスト1位入賞。記念品、手塚治虫の「火の鳥」E訳について「少年の日3年間手塚氏に漫画を学んだ元門下生、関西大学の小西岳教授が翻訳」との共同通信記事。

La 2a karabano al For-Orienta Rusio

第2回極東ロシア訪問団

~渤海の地にて~

KABAYAMA Yusuke 樺山 裕介

日本海の向こう岸の土を踏む

今回の訪問団は、宮城県の人から問合せがあったりしたもの、結局は応募が無くて、宮沢団長と、川畑栄郎君とぼくの3人でやってきた。川畑君は、大陸を旅しており、ぼくらがウラジオにいる間に来てもらって、ロシア語通訳として働いてもらうことになっていた。小樽から直接、観測船をチャーターして行くことに話がまとまっていたのにドタキャン。宮沢氏とぼくは、新潟までまわって、10月7日飛行機で入国した。パスポートの写真が、今の髪型(坊主頭)と違っており、顔が同じに見えず、なかなか審査を通してくれない。ようやく抜けると、アレクサンドル=チターエフ先生が出迎えてくれた。ぼくらと同じ学会に参加する日本の学生さんたちとワゴンに乗り込み、日の暮れた道を南下。チターエフさんとぼくらがエスペラントで話している様に、学生さんたちや引率の先生がびっくり。

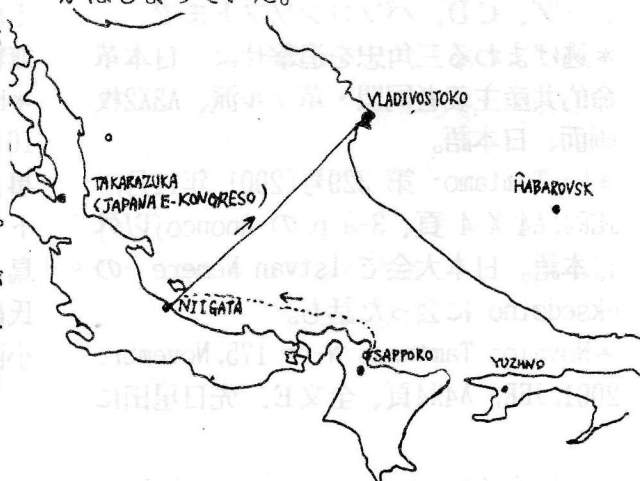
週末のせいか、森のなかの道なのに渋滞がひどい。進むにつれて、ひっくり返ったり、つぶれている車がひとつ、ふたつ、みつ、つ……。パトカーに無視されている事故車もある。町中に入って、韓国の現代グループの広告がめだつようになったころ、団長が「『天空の城ラピュタ』が見られる」と予告する。蟻塚のような巨大団地の窓の明りはなるほど、ラピュタの城だ。

発表までの日々

アジア太平洋地域国際学生大会なる、長い名前の学会は、外国人参加のほとんどが日本からで、中国・韓国・アメリカ合衆国から少しいるようだ。10月9日プーシキン劇場で開会式がある。代表の教授がロシア語でしゃべり、女子学生に英語に訳させるが、この子が詰まりだすと、教授が自分で英語でつないだりする。発表原稿集の中身も、われらがエスペラントのページ以外は全て英語であった。学問の世界ではここでも英語が制覇していた。ぼくは、ほとんど英語はしゃべれない。

夕方、場所を変えて、外国人の歓迎の宴に出る。宮沢さんは、ロシアのおっさんと飲み比べに突入する。ぼくは学生さんと語り合う。やがて乱舞に発展。お開きになって、酔ったぼくは、金角湾を見下ろす丘で北海道大学寮歌「都ぞ弥生」を朗唱したのだった。

自分の出る分科会まで、ヴァレリー・パラヴィンさんからロシア語を教わったり、知り合った人の分科会を傍聴したりしていた。テレビを見ると、アフガニスタンへの空爆がはじまっていた。



エスペラント学分科会

ぼくらは遊びにきたのではない。10月10日のエスペラント分科会で、論文を発表しなくてはならない。会場は帝政ロシア時代からあったような建物の奥まった部屋であった。学生大会なのに、入ってくる人は、おなじみのアンドレイとミロ斯拉ヴァさん以外は中高年ばかりなのが不思議だった。チターエフさんが自分たちのエスペラントサークルの活動を、ぼくらを呼び込んで、学生大会の範疇にねじ込んだらしく見受けられた。テーブルの上に広げられたエスペラントのいろいろな雑誌は100年近く前の物もあり、まさに宝の山だった。

まず、チターエフさんが、ポストニコフに始まるウラジオストックのエスペラント史を、船を漕ぐように、長い詩を奏でるように語る。そして、ぼくは、アイヌ語についてエスペラントで発表した。ヴァレリーさんがロシア語に通訳した。最後はアイヌ語で、イヤイヤイケレ（ありがとうございました）とあいさつして締めた。質問がたくさん来た。アイヌ人は何人いるのか、北海道アイヌとサハリンアイヌは手を取り合っていないのか、琉球人は日本人とちがうのか、琉球人は自立しないのか…そしてもっとも手強い人物が手を挙げた。「私はハバロフスクから来た歴史学者だが、アイヌ民族は中世にアムールから渡って来たと思っているが、どうか。」アイヌ・琉球同祖かつ縄文文化人＝日本列島先住民説を取るぼくは当惑して、その旨を答えた。が、思い出した。それはオホーツク文化人のことだ。中世、北海道のオホーツク海の岸辺から礼文島にかけて、突如、今までと全く違う生活文化を営む集落が現れた。

その文化は、アムール川沿いの民族と共通するものが多いそうだ。やがて、オホーツク文化人の集落は姿を消した。流氷が押し寄せるように現れ、流氷が引くように消えていった幻の民が、北海道の住人に、溶け込んだのか否か、どのような影響を及ぼしたかは、未知のままだ。

そのことを言うと、納得はしないものの、興味は持ってくれたようだ。

時間がなくなったので、北海道のエスペラント史についての星田さんが書いた文は宮沢氏がエスペラントで手身近に話し、川畑君に訳させた。あと、いろんな歌を歌った。

渤海のヨーロッパ

荷を下ろして気が楽になり、ようやく旅を楽しむゆとりが出てきた。金角湾の岸にケーブルカーで下りると、そこは、19世紀風ヨーロッパロシアの建物が多く残っている大通りだ。大陸側から地図を見ると、ウラジオは大ロシアの果てである。しかも、盲腸のように、端が南へ曲がったその先っぽにある。その先は海。ここはヨーロッパの果てである。その先まで夢見て、世界語伝道者ポストニコフが来たのもわかるものだ。

しかし、ここはもともとアジアだ。「肅慎」と総称された人たちが住んでいたところだ。古来から日本と交流があり、渤海国は幾度も使者が毛皮を平安朝に持って来て、日本の産物を持ち帰った。つまり何が言いたいかというと、そんなに歴史的に意味のある町が、ぼくらの住んでいる島の近くにあり、ぼくらはその地に立ったということだ。

ぼくらは、ゲンナジー＝シレプチェンコさんの属する野外活動団体に連れられて行った。東京都東村山市などの歩け歩け運動と連帯しているようだ。明日にも登山があるから、同行しないかと誘われ、とんとん拍子に話しが進む。が、明日は宮沢氏の帰りの船を仲介する「平和基金」訪問の予定が入っていた。結局、宮沢氏が登山に、ぼくと川畑君が「平和基金」との外交にあたることになった。

それからゲンナジーさんの自宅におじゃまする。音の出るパソコンでのエスペラント、日本語の学習プログラムを見た。いつぞやの来日写真も番組化されてあった。なかなかのスクレモノだった。

「平和基金」訪問

10月12日、川畑君とぼくの二人で「平和基金」を訪問した。行ってみて、びっくり。そこにいるのは、エスペラント学分科会にいたのと同じ顔ぶれだった。チターエフさんはこの団体の幹事をしてきたそうだ。食べ物飲み物で、あれやこれやと、もてなしてくれる。ナナカマドの実を漬けたウオッカを隙あらば注いでくれるおばさん。歳をとってからの大学講座とか、日本人捕虜の墓の世話などをしているらしい。ひとりずつ立ってエスペラント訳の詩を朗読してくれる。プーシキンの詩が多い。日本で公演したこともあるという歌手氏が、次々に持ち歌を披露する。ほんとうに、みなさん、歌好きで詩が好きである。ぼくも一曲所望され、「都ぞ弥生」を歌い、歌手氏に誉められた。

まとめ

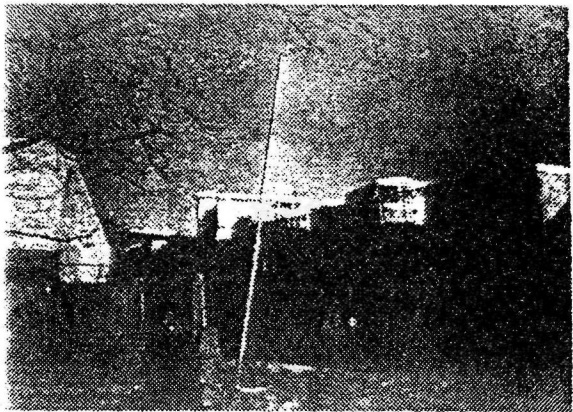
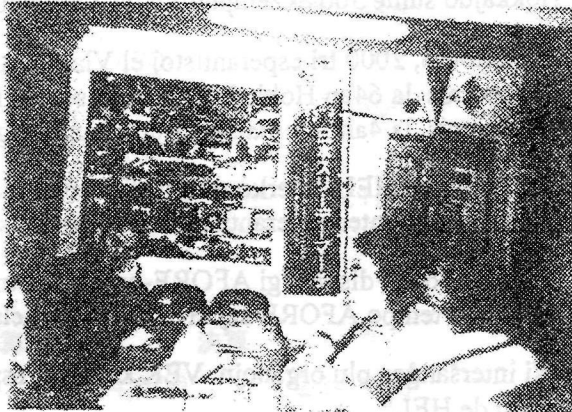
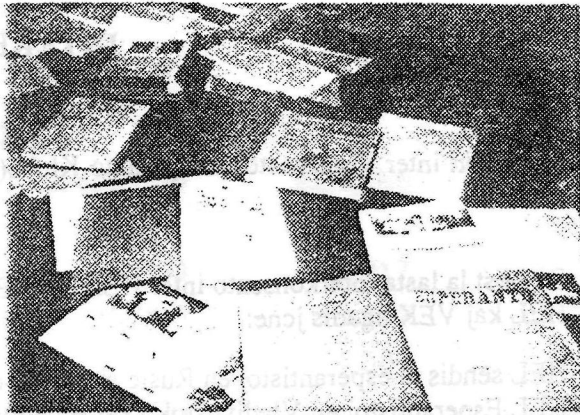
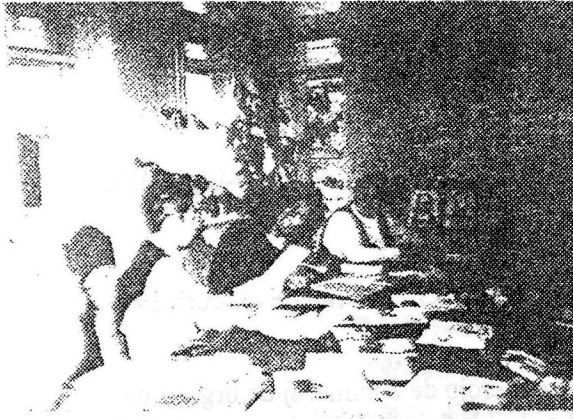
この出会いをどう生かすかが今後の課題である。分科会では、ぼくはアイヌ民族で

も専門家でもないのに、地元の言語ということで紹介し、世界語エスペラントと比較した。それが、思わぬ反響を呼んだ。向こうにも先住民も専門家もおり、ぼくらは橋渡しになれる。「平和基金」の活動についても可能性を探っていきたい。

訪問団の性格についてだが、参加者が払う参加費から経費を引いても黒字となるため、エスペラントと極東ロシアを経験するツアーとして営利事業化して HEL の収入にすることを、宮沢氏は考えている。登山に同行したのも、その呼び物にできるかもしれないと考えてのことであった。

ぼくは、はじめは、宮沢氏の強引な主導による訪問団結成に批判的だった。本州の人をにわかエスペランチストにして HEL に入会させ、団員にしたのが気にいらなかった。機関誌発行・広域組織化と引き換えの資金援助についても、真っ先に相談されて、真っ先に反対したものだ。(いまのぼくは、下落したルーブルで自力成長が苦しい組織への先行投資として、呑んでいる。)

ならば、自分が行ってやるぞと、参加した。参加して・・・問題が無いとはいえないが、訪問団が実現したことは、ぼく自身、体験して良かったと言える。チターエフさんが、日本のエスペラント団体を行脚して、ウラジオの青年大会の参加を呼び掛けたとき、唯一、宮沢さんが HEL を巻き込んで答えたことで、ウラジオのエスペラントは大学で公認されて学界で生き延びることができた。有意義な出会いが数々生まれ、人の暖かさを知り、双方のエスペラント運動の歴史に刻印が刻まれた。次回どうなるかわからないが、ぼくは今回の経験を大切にしたい。



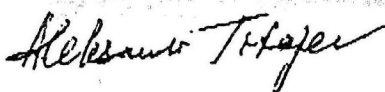
INTERKONSENTO

Por kunlabori inter Vladivostoka Esperanto-Klubo(VEK) kaj Hokkajda Esperanto-Ligo(HEL)

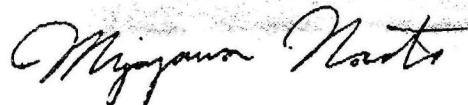
1. De post la lasta interkonsento inter HEL kaj VEK "PACIFIKO" la 31an de oktobro 1999 HEL kaj VEK agadis jĉne:
 - 1.1 HEL sendis al esperantistoj en Rusio sume 160 ekzemplerojn de 8 numeroj de organo de HEL. Esperantistoj en Vladivostoko kaj Ĥabarovsko skribis 6 artikolojn al organo de HEL, "Heroldo de HEL".
 - 1.2 VEK reeldonis organon de AFORE jare kaj ekorganizis esperantistojn en For-Orienta Rusio. La Asocio de For-Orientaj Rusiaj Esperantistoj(AFORE) sendis al esperantistoj en Hokkajdo sume 300 ekzemplerojn de 3 numeroj de ĝia organo "La Pacifika Kuriero"
 - 1.3 .En oktobro, 2000 tri esperantistoj el Vladivostoko kaj Naĥodko vizitis Hokkajdon kaj partoprenis la 64an Hokkajdan Kongreson de Esperanto. Tri karavananoj de HEL partoprenis la 4an Internacian Studentan Kongreson de Azi- Pacifika Regiono.
- 2 Ni, VEK kaj HEL, interkonsentis disvastigi nian rilaton dum du jaroj pli ol la supremenciita interamikiĝo inter esperantistoj en Hokkajdo kaj For-Orienta Rusio:
 - 2.1 VEK klopodos disvastigi AFORE-on kaj plu interamikiĝos kun esperantistoj en Japanio. En proksima tempo AFORE kaj HEL celos ĝemelan kunlaboron.
 - 2.2. Ni interŝanĝos plu organojn. VEK kaj HEL esperas, ke esperantistoj en Rusio kontribuos al "Heroldo de HEL".
 - 2.3. Donacante \$200 por du jaroj, HEL subtenos al VEK por fari projektojn: organizo de esperantistoj kaj interamikiĝo inter esperantistoj en Rusio kaj Japanio.
 - 2.4 VEK akceptos publike kaj aktive esperantistojn kaj klopodos realigi laŭeble projekton sendi anojn de VEK al eksterlandoj.

2001-10-29

Prezidanto de Vladivostoka
Esperanto-Klubo "Pacifiko"
TITAJEV Aleksandro



Gvidanto de Karavano al For-Orienta Rusio
en la nomo de Hokkajda Esperanto-ligo
MIYAZAWA Naoto



協定書

[ウラジオストック・エスペラントクラブ (以下 VEK) と北海道エスペラント連盟 (以下 HEL) との協力に関する取り決め文書]

1. 1999年9月31日、HELとVEK;"PACIFIKO"とは議定書を交わしてから以下のように交流し、活動をしてきた。

HELの機関誌「Heroldo de HEL」を合わせて8号、のべ160部をロシアに住むエスペランチストに送り、極東ロシアエスペランチスト協会 (以下 EOREA) は機関誌「La Pacifika Kuriero」を3号分、のべ300部を主に北海道のエスペランチストに届けた。

2000年9月、ウラジオストックとナホトカのエスペランチスト3名が来道し、第64回北海道エスペラント大会に参加した。

2001年第4回アジア太平洋地域諸国国際青年研究者会議にHELから訪問団3名が参加した。

VEKは前回取り決めた項目によってVEKの機関誌を復刊(年1回)させた。そして極東ロシアエスペランチストの組織強化に取りかかった。また、この取り決めによって、ウラジオストックとハバロフスクのエスペランチストから6本の投稿があり、それをHELの機関誌「Heroldo de HEL」に載せた。

2. こうした北海道と極東ロシアのエスペランチストの交流、エスペラントの普及は共に築いた実績をもとに、さらにこの関係を二年間発展させることに合意した。

① VEKはEOREAの発展強化に努め、日本との交流も引き続き進める。近い将来EOREAとHELとは姉妹提携することをめざす。

② 機関誌の交換は続ける。HELとVEKはロシアに住むエスペランチストの「Heroldo de HEL」への投稿を歓迎する。

③ HELはVEKが行うエスペランチストの組織化と日ロ交流のために1年間100ドルを2年間援助する。

④ VEKは広くエスペランチストの訪問に対し、積極的に受け入れる。また海外へのメンバー派遣を計画し、可能な限り実現に努める。

2001年10月29日

VEK「パツィフィーゴ」会長

アレクサンドル・チターエフ

2001年極東ロシア訪問団 団長
(HELを代表して)

宮沢 直人

日本兵墓地 要望聞かせて

ロシア・エラフガ収容所で抑留

エラフガに眠っている日本兵に心当たりは
ありませんか。戦後、ロシア・タタルスタン
共和国のエラフガ捕虜収容所に抑留され、
死亡した日本兵の墓地を管理している現地の
市民団体が、日本の遺族と連絡をとりたがっ
ている。道内にも少なからずいるとみられ、
同団体は「墓地の管理」に関する要望を聞き
たいとしている。

この団体はエラフガ近 一九四五年十二月から日
郊のナベレジニエ・チェ 本兵を収容し、四八年六
ルニでエスベラント語を 月の閉鎖まで約一万五千
学んでいる市民団体「サ 人の日本兵が抑留され
ラマンドロ」。知人を通 た。厚生労働省によると、
じて道エスベラント連盟 このうち八十七人が死亡
(本部・札幌)に電子メ ールを送ってきた。
エラフガ捕虜収容所は



地元団体が呼び掛け

多数の道内出身者

いた旭操管内早来町の剣
持博彦さん(左)は「確
かに道内出身者は多か
った」と話し、「四六年に
は腸チフスが流行し、三
十人以上が死んだ。冬は
氷点下三五度にもなり、
まき割り作業などで凍傷
になる人も多かった」と
振り返る。

同団体は墓地の清掃な
どを行っているが、墓地
の管理について「失礼に
あたらないよう日本での
習慣などを知りたい」と
している。

道エスベラント連盟の
星田厚志副会長は「心当
りのある人はぜひ連絡し
て」と呼び掛けている。
連絡は同連盟の011・
717・4189へ。



「Ili vivis sur la tero (8年間世界一周)」の著者ロビノー夫妻について
那須 栄

第64回大会には是非出席すべく予定していたのですが、週明け文部科学省の会議が入って出発しなければならなくなり残念に思っています。

Heroldoの記事によりますと、MarivonneとBrunoの二人は私の所に三日ほど滞在し、それから彼の知りあいで駒ヶ岳の嘗ての曾田シャロレー牧場で曾田(故人)の奥さんの経営するといわれているソーセージ工場で働いている仏人の所まで車で送って行きました。彼はエスペランチストではなく、製品は函館市内に卸して居りました。今はわかりません。

Robineauの牧場からシャロレー種の肉牛を曾田玄陽氏が輸入する為に買付けに行った話をしておりました。彼は八雲で家畜診療所を訪ね、獣医さん方に日本の人工授精器具はフランスからの輸入品であるとか、フランスの高度な技術の講義をしていきました。農協では、日本の酪農家は借金が多いのにどうして新しいトラクターや乗用車を二台も持っているんだとか質問して、課長も答弁に窮していました。日本を出てから韓国に渡り、農村を歩きながら手紙をくれました。日本の農業はヨーロッパから学ぶ必要はない。韓国にこそ本場の姿がある。是非韓国を訪ねる様にとの事でした。私は未だ彼の助言に応じていません。ソーセージは多分、駒ヶ岳のLucienさんからだと思います。

Korano en Esperanto

エスペラントでコーランを

SES.G

札幌エス会の豊蔵正吾さん(89才)はたった一人でNobla Korano全巻を読み終えた。豊蔵さんは数年前から帯状疱疹になやまされてきたが、回復の兆がみえた2000年12月18日から読み始め、328日をかけて、11月11日に114章654ページを読み切った。多分、Esperantoでコーランを完読した日本人は豊蔵さんが初めてではないでしょうか。イスラム原理主義が台頭し、国際紛争にまで発展している今、イスラム教を正しく理解する事は、世界平和の根源にかかわる学習行為のひとつでもあります。みなさんもコーランを今一度読んでみませんか。

(編) 私ち、日本語ですが、学生時代に読んだ岩波文庫のコーランを読み返しています。

抄訳(編集部)

S-ro TOYAKURA Syôgo 89 jara ellegis Noblan Koranon 654 paĝan por 328 tagoj. Estas valore por monda paco, kompreni islamon sen miskompreno, precipe por nuntempo de konfliktoj. Mi rekomendas legi koranon. *resume trad. de red.*

(編) 児玉広夫さんも彼らを泊めたそうです。その後、支笏湖に野営しに行ったのを送ったら、台風が来て、心配して車で見に行ったとのこと。

Ret-interparolo kun junulino en
Novosibirsk

ノボシビルスクの学生とのメール

HOŜIDA Acuŝi 星田淳

やりとり・その1

Karaj samideanoj,

札幌の姉妹都市 Novosibirsk からメール
が来ましたので紹介します。私が

NEKmovado(同市の学生グループ)のホー
ムページを見て送ったメールへの返事です
が、北海道との交流を希望しています。

SESで「姉妹都市交流」として取り組め
るチャンスですね。この人のメールアドレスは
bcmary@yahoo.com

グループ NEKmovado のアドレスは
NEKmovado@mail.ru です。

□ Saluton el Siberio de Masha el
NEKmovado

3 INETGATE bcmary@yahoo.com
2001/11/20 21:41

Masha> Karaj samideanoj, Saluton!

星田> Mi vizitis vian TTT-paĝon(NEK)
kaj trovis, ke ĝi estas tute ruslingva,
bedaŭrinde.

Masha> Pardonu! Ni estas studentoj kaj
ne havas multe da tempo por traduki.
Iam faros tion... :-)

星田> Ĉu mi povos iel legi en Esperanto?

Masha> Nun ne, ĉar ne ekzistas, pardonu
denove!

星田> Bonvolu doni ankaŭ paĝon de
Lingvo Internacia. Ni estas en Hokkajdo,
insulo najbara al Saĥalino.

Masha> Mi tre bone scias kio estas
Hokkajdo. De kiu urbo vi estas?

Sapporo estas "frata-urbo" kun
Novosibirsko. Mi mem lernas Japanan
kaj tre interesigi pri Japana kulturo. Kaj
en Novosibirsko estas Siberio-Hokkajdo
Kultura Centro. Mi tre ofte vizitas. :-)

Do, mi estis tre ghoja recevi vian leteron!
Dankon! :-)

Mi mem volonre korespondos volonte kun
iu de Hokkajdo, de Japanio.

Denove dankon por via letero! Ĝis!

Masha el NEKmovado. Karaj samideanoj,

やりとり・その2

Karaj samideanoj,

ノボシビルスクの女子学生グループ
NSK についてはお知らせしましたね。

札幌の方には写真も見てもらったと思いま
す。次に最近のメールを紹介します。

最初の手紙は、今ちょうど期末試験で返事
が出せない、あとで書く、との文。

次の手紙はこちらからの質問への答え。

Masha はメールで文通します、

ほかの2人(Elja と Lena) に文通申し込む
方には郵便あて名を教えます、

とのこと。どうぞ読んで、申し込んでくだ
さい。Sincere, HOŜIDA Acuŝi

□ 題名 : Re: Kien skribu helike?

1 INETGATE bcmary@yahoo.com
2001/12/12 02:04

Date: Tue, 11 Dec 2001 17:04:11 +0000
(GMT)

Masha> Pardonu, pardonu, pardonu! Ĉu
mi jam diris al vi, ke mi estas studentino.

Kaj kutime, en Rusio, la fino de decembro
estas ekzamenoj... :- (bedaŭrinde

mi preskaŭ tute ne havas tempon por skribi al vi grandegan interesan leteron. Pardonu denove! Ĉu mi povas skribi poste? Mi recevis vian leteron kun multe da demandoj. Mi respondos poste, ok? Pardonu! Masha.

□ 題名 : saluton el Rusio?

1 INETGATE bcmaryl@yahoo.com

2001/12/16 01:42

Date: Sat, 15 Dec 2001 16:42:18 +0000 (GMT)

Masha> Saluton! Finfine respondoj por viaj demandoj! Pardonu min. Mi ne povis skribi al vi ĉar estis tre-tre okupita kun mia studado! Sed nun mi havas iomete da tempo.

星田> Kio estas Festivalo REK-EOLA en Sankt-Peterburgo?

Masha> Estas du Rusaj kongresoj - REK kaj EoLA. Se mi ne eraras, EoLA estas Esperanto Lingva Arto aŭ mi ne scias kio. Oni kantas multe tie, kaj faras teatraĵojn kaj ktp. Elja tradukis rusan kanton kaj kantis tie.

星田> Ĉu Elja tie sur-podie salutis, aŭ kantis, dancis?

Masha> Kantis.

星田> Lena ludas per gitaro -----kiajn muzikaj^ojn?

Masha> Vere, Elja estas la plej "muzika" persono en NEK. Shi kantas tre-tre bone kaj ludas per gitaro. Lena ankaŭ. Sed Lena estas pli fama kiel pentristino.

星田> Lena, Elja kaj Nadja sur bordo de -- ĉu rivero au lago? Sed ni trovas nur du junulinojn sur la bordo.

Estas nia "maro".

星田> Marja(c^u Masha?) en Parizo -- c^u sur la vojaĝ^o al Strasburgo?

Masha> Mia nomo estas Maria, sed oni nomiĝas min diverse - Masha, Marja, Mashutka kaj ktp. Jes, mi estis en Parizo por 20 tagoj post IJK en Strasburgo. Unu esperantisto gastigis min. Ni amikiĝis kaj nun havas tre bonaj rillatoj. Ni korespondas nun kaj li vizitos Nsk en junio. Kaj ankaŭ vizitos nian kongreson RA.

星田> Lena sur ĉevalo -- Kie ŝi rajdas? Ĉu ĉirkaŭ Novosibirsk?

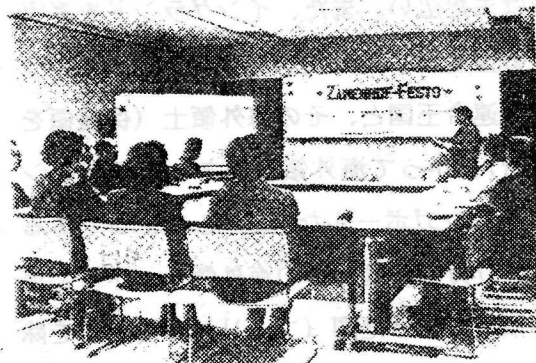
Masha> Estas en Nsk oni povas trovi lokojn por rajdi. Estas eble. Nsk estas tre granda urbo. Lena ne iris kun mi al Eŭropo.

Elja kaj Lena povas korespondi per ordinara poŝto. Se iu volas korespondi kun ili, mi donos adresojn.

Nun estas tre malvarme en Nsk -30 tage. Kiel vi fartas? Kio okazas en Japanio?

Ĉu io interesa okazas en Japanio kun Esperanto? Rakontu ion al mi pri Esperanto en Hokkaido, bonvolu! Ĝis! Masha.

次号予告 札幌 E 会ザメンホフ祭報告
楽しかったそうですね。誰かに書いていただきますので、頼まれた人は断らないように!



Kontraŭ la oficialigo de la angla lingvo 英語第二公用語化反対の仲間を集めています

英語の第二公用語化に反対するエスペ란チストの会

英語の第二公用語化と小学校必須科目への導入に反対する声明

故小渕恵三元首相の諮問機関である「21世紀日本の構想懇談会」が、英語を小学校からの授業に組み入れ、第二公用語とすることを視野に入れることを答申した。民主党は、英語第二公用語化を推進することを明言した。前者では、日本人の「グローバル・リテラシー」の確立のために日本人全体が英語を使えることが必要だからとのことだが、それは実際には、戦後日本に最も影響力の大きいアメリカ合衆国を中心とする英語圏社会に国を挙げて融け込むことを意味する。英語は世界のすべてに受け入れられた国際共通語ではなく、あくまで、いち民族語を便宜上、異言語集団に属する者の意思の疎通に利用している世界最大の例に過ぎない。世界には、スペイン語、アラビア語など、同じ役割を事実上、務めている言語が多数存在し、英語が通用しない地域はまだ広い。また、イングランドを事実上の盟主とする、大ブリテンと北アイルランド連合王国と、その海外領土（保護領を含む）、かつて海外領土であった国（インド、シンガポールなど）、その一つであるアメリカ合衆国、その海外領土、かつて海外領土であった国（フィリピンなど）を除く国で、英語を公用語に採用する国は少な

い（レバノン、ナミビア、リベリア、ルワンダの4か国のみ）。英語圏すなわち国際社会ではなく、英語を使う事すなわち国際化ではないのだ。

人口、経済力、技術力、政治力、軍事力を背景とした、国語化した民族語のさらなる膨張は、他の民族語を危機に陥れ、実際に絶滅したり、現に絶滅の危機にある言語が数多いことを、我々は訴える。例えば、アイヌ語は、日本語やロシア語の膨張でそのような危機に追いつめられた。英語もまた、民族語がそのまま強国の国語となった例であり、特に北米大陸において数々の民族の言語を圧迫した実績がある。現在は、国際社会において、アメリカ合衆国の主言語たる英語は、暗黙のうちに他の言語の存在を圧倒しようとしているのである。エスペラントは、このような強弱関係を否定する基盤に立脚し、国際語として立案され、実用されている中立言語である。我々エスペ란チストは、言語民主主義の先頭に立ち、言語による意思の疎通についての問題について、英語の世界語化とは、別の解決を模索するものである。

義務教育での母語以外の言語教育は、いち言語を特定した必修科目ではなく、選

択制にすべきである。その範囲内で、英語を選択した者に対して、より良い英語教育をするための改革をすることは、むしろ有益であろう。我々は英語を排除したいのではなく、英語の絶対化を危惧しているのである。

英語圏との親善と、自らの国の基盤を英語にすることは、全く別である。また、現状への妥協・追従という便宜上の理由をもって英語で意思疎通を行うのみならず、英語を正式に日本の公用語として定めることは、英語を世界語とみなすことを公に追認し、不公平な言語関係を公に追認することになる。それだけではなく、その法的裏付けにより、日本に住む人々へ英語使用を強要する事態もありえる。英語によって得る実益がいくらあろうとも、もし不公平と強制に支えられているならば、民主主義の

否定と、主権の放棄による、拙速な従属政策にすぎない。国際社会における日本の市民の説明・受信能力は、対等な関係についての自覚に基づいて、法による強制ではない援助と改革によって養うことが好ましい。そのあり方についての議論は、大多数の日本人とアメリカ合衆国民、その他の一部の外国人にある「国際語は英語」という思い込みに流されてはなるまい。

このように、我々エスペランチストは、言語民主主義の立場から、英語の第二公用語化案に強く反対し、英語を小学校の必須科目に導入することに反対する。そしてそのことを、小泉純一郎首相、政府閣僚、国会議員、そしてすべての日本在住の人々に強く訴える。

英語の第二公用語化に反対するエスペランチストの会

樺山 裕介、中野 常明、星田 淳、後藤 義治、権野 正浩、大山口 誠、須藤 昭三、山本 昭二郎、加藤 直樹

とりまとめ先：樺山 裕介 076-0024 富良野市幸町 2-20-A

電話・ファクシミリ 0167-23-5772

kabaty@fa3.so-net.ne.jp

さらに理論を詰めて、文を変えました。賛同者を募集します。賛同者は、自動的に会員とさせていただきます。

来年の夏までに、連名で、首相、文部科学大臣、外務大臣、各政党に送り、マスコミにも知らせたうえで、解散します。あれから月日がたち、機を逸した感がありますが（すみません私のせいです）今からでも、エスペランチストとして、実績を形にして残してけじめをつけましょう。内地のエスペランチストにも呼びかけます。（樺山）

La novjara kurso en 2002 kun paroladoj pri la karavano al For-Orienta Rusio

極東ロシア訪問団報告+2002年新年講習会

会場：札幌市北区1-3-13 3階 ロンデタージョ（電話011-717-4189
宿泊できます。地下鉄南北線麻生駅から徒歩5分）

2002年1月12日（土）18:00~20:00 極東ロシア訪問団の体験談；
エスペラントをやりませんか？

2月10日（日）9:30~12:00 講習①②

13:00~16:00 講習①②

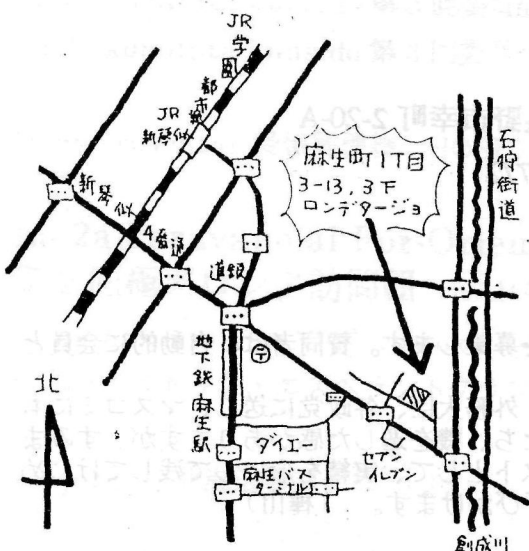
11日（月・祝日）9:30~12:00 講習①②

講習①入門講習：エスペラントに初めて触れる人、やり直したい人のための講習。担当：佐藤不二雄

講習②初心者以上の人向け（初級~中級）実践講習：アニメビデオ **Mazi en Gondolando** (第2巻)を見て、聞き取り練習をします。途中参加可。担当：樺山裕介

参加費：エスペラント未経験の人は500円

エスペラントを学習したことのある人は2000円



Heroldo de HEL 北海道エスペラント連盟機関誌
第91号 (2001.12.31)
編集部 076-0024 富良野市幸町2-20-A
樺山 裕介方 電話・ファックス 0167-23-5772
電子メール kabaty@fa3.so-net.ne.jp
郵便振替口座 02700-6-17075
北海道エスペラント連盟
正会員 3000円 家族会員 1000円
青年会員 (25歳以下) 1500円
購読会員 2000円